J8300
初版
2013年9月

BC

HDMI
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

ノートパソコン

ASUS TransBook Trio

ユーザーマニュアル

COPYRIGHTについて

ASUSは、本マニュアルについて、明示の有無にかかわらず、いかなる保証も行いません。ASUSの責任者、従業員、代理人は、本書の記述や本製品に起因するいかなる損害（利益の損失、ビジネスチャンスの遺失、データの損失、業務の中断などを含む）に対して、その可能性を事前に指摘したかどうかに関りなく、責任を負いません。

本マニュアルに記載の製品名及び企業名は、登録商標や著作物として登録されている場合がありますが、本書では、識別、説明、及びユーザーの便宜を図るために使用しており、これらの権利を侵害する意図はありません。

本書の仕様や情報は、個人の使用目的にのみ提供するものです。また、内容は予告なしに 変更されることがあり、この変更についてASUSはいかなる責任も負いません。本書およびハードウェア、ソフトウェアに関する不正確な内容についてASUSは責任を負いません。

責任制限

この責任制限はASUSの、或は他の責任の不履行により、ユーザーがASUSから損害賠償を受ける権利が生じた場合に発生します。

このようなケースが発生した場合は、ユーザーのASUSに損害賠償を請求する権利の有無にかかわらず、ASUSは肉体的損害（死亡したケースを含む）と不動産及び有形動産への損害のみに賠償責任を負います。或は、それぞれの製品の記載された協定価格を限度とし、「Warranty Statement」のもとに生じる法的義務の不作為または不履行に起因するいかなる実害と直接的な被害のみに対して賠償責任を負います。

ASUSは「Warranty Statement」に基づき、不法行為または侵害行為が発生した場合と、契約に基づく損失や損害が生じた場合及びその主張に対してのみ賠償し、責任を負います。

この責任制限は、ASUSの供給者または販売代理店にも適用されます。賠償の際は、ASUSとその供給者及び購入した販売代理店を一集合体としてその限度額を定めており、その限度額に応じた賠償が行われます。

以下のケースに対しては、ASUSとその供給者及び販売代理店がその可能性を指摘されている場合においても、ASUSはいかなる賠償及び保証を行いません。

(1) ユーザーが第三者から請求されている申し立て
(2) ユーザーの個人情報やデータの損失
(3) 特殊、偶発的、或は間接的な損害、または 貯蓄や諸利益を含むあらゆる結果的な経済的損害

サービスとサポート

マルチ言語サポートサイトを開設しました。英語で表示される場合は「Japan/日本語」を選択してください。
http://support.asus.com

もくじ

Chapter 1: ハードウェア

Chapter 2: 使用の手引き

Chapter 3: Windows® 8環境で使用する

Chapter 4: Android環境で使用する

Chapter 5: Power-On Self-test（POST）

Chapter 6: FAQとヒント

Chapter 7: 付録

本マニュアルについて

このマニュアルにはASUS TransBook Trioのハードウェアとソフトウェアについての説明が記載されており、以下のChapterから構成されています。

Chapter 1: ハードウェア

ASUS TransBook Trioのハードウェアとコンポーネントについての説明が記載されています。

Chapter 2: 使用の手引き

ASUS TransBook Trioの使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 3: Windows® 8環境で使用する

ASUS TransBook TrioでのWindows® 8の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 4: Android™ 環境で使用する

ASUS TransBook TrioでのAndroid の使用方法についての説明が記載されています。

Chapter 5: Power-On Self-test(POST)

POSTを使用したASUS TransBook Trioの設定変更方法についての説明が記載されています。

Chapter 6: FAQとヒント

よくある質問とその回答・ヒントが記載されています。

Chapter 7: 付録

製品の規格や海外の法令についての説明が記載されています。

注: 本書で使用されている名称は正式なものではない可能性があります。

このマニュアルの表記について

本製品を正しくお取り扱いいただくため、以下の表記をご参照ください。

重要: 作業を完了するために従わなければならない事項です。

注: 作業を完了するためのヒント等の追加情報です。

警告: 作業を行う際、人体への危険を避けるため、またはASUS TransBook Trioのコンポーネントへの損害、ASUS TransBook Trio内のデータの消失を避けるために、必ず従わなければならない事項です。

アイコン

タスクを完了するために使用するデバイスをアイコンで表しています。

= タッチスクリーンパネルを使用します (特定モデルのみ)。

= タッチパッドを使用します。

= キーボードを使用します。

表記

太字 = 選択するメニューや項目を表示します。

<> = 操作のために押す、キーボード上のキーです。

安全上の注意

ASUS TransBook Trioを使用する

ASUS TransBook Trioは5～35℃の周辺温度でご使用ください。

ASUS TransBook Trioの底部に記載があります。ACアダプターが対応していることを確認してください。

ASUS TransBook Trioの使用中は底面が熱くなります。ひざの上など人体に長時間接触させて使用すると火傷を負う恐れがあります。

破損した電源コード、アクセサリーまたはその他の周辺機器を使用しないでください。

電源がONのままASUS TransBook Trioを持ち運ばないでください。またキャリーバッグに入れたり、カバーをしたりしないでください。通気が悪くなり故障の原因となります。

ASUS TransBook Trioを平らでない、不安定な場所に置かないでください。

ASUS TransBook TrioをX線装置（ベルトコンベアー）に通すことは問題ありませんが、磁気センサーや磁気ワンドはお避けください。

多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。航空機内でのASUS TransBook Trioの使用については、各航空会社にお問い合わせください。

ASUS TransBook Trioのお手入れ

ASUS TransBook Trioのお手入れの際は、電源を切りACアダプターを取り外してください。清潔なスポンジまたは柔らかい布に研磨材の含まれていない洗剤を温水で薄めたものを数滴含ませ、汚れを拭き取ってください。最後に乾いた布を使って余分な水分を完全に取り除いてください。

ASUS TransBook Trioのお手入れに、シンナー・ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。

ASUS TransBook Trioの上に物を置かないでください。

ASUS TransBook Trioに強い磁気を近づけないでください。

液体・雨・湿気を避けてください。

ASUS TransBook Trioをホコリや汚れの多い環境下に置かないでください。

ASUS TransBook Trioをガス漏れの恐れがある場所で使用しないでください。

廃棄・リサイクルについて

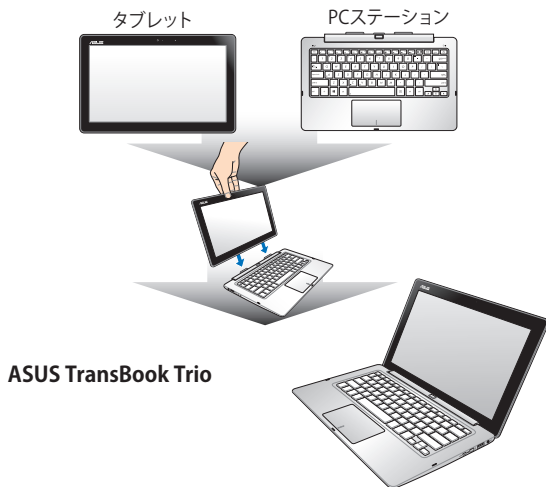
本製品やバッテリー（該当する場合）を一般廃棄物として廃棄しないでください。本製品のコンポーネントの中にはリサイクルできるよう設計されているものがあります。なお、本製品は水銀ボタン電池を含む電子機器です。本製品を一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

バッテリーを一般ゴミとして廃棄しないでください。リサイクル、廃棄の際は電子機器の廃棄に関する地域の条例等に従ってください。

Chapter 1: ハードウェア

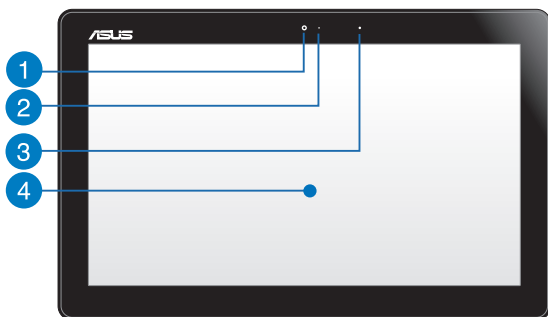
製品の概要

ASUS TransBook Trioは、タブレットとPCステーションの2つのデバイスで構成されており、タブレットをPCステーションにドッキングすると、ノートパソコンのように使用することができます。

タブレットとPCステーションのドッキングを解除し、それぞれ独立したデバイスとして使用することもできます。タブレットにはAndroid OSが、PCステーションにはWindows® 8がインストールされています。

注: タブレットとPCステーションの着脱については「ASUS TransBook Trioとして使用する」と「タブレットのドッキング解除」をご参照ください。

タブレット

ASUS TransBook Trioのタブレットは、Windows® 8環境でもAndroid環境でもタッチ操作を行うことができます。タブレットを単独で使用する場合は、Android のみ使用することができます。

前面

1 **カメラ**

内蔵カメラにより、ASUS TransBook Trioで画像の撮影と動画の録画ができます。

2 **カメラインジケーター**

内蔵型カメラの使用時に点灯します。

3

アンビエント・ライトセンサー

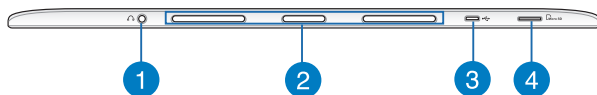
周囲の明るさに応じ、ディスプレイの明るさを調節します。

4

タッチスクリーンパネル

本製品のタッチスクリーンパネルは画像や動画、その他マルチメディアファイルの参照に卓越した視認性を発揮します。タッチ操作対応ですので、タッチ操作で本機を操作することができます。

注: 詳細は「タッチパッドとタッチスクリーンパネルの操作」をご参照ください。

ポートとスロット

1 ヘッドホン出力ジャックポート (Android のみ)

Android 環境で外付けのスピーカーやヘッドフォンを接続します。また、特定モデルでは4極対応のヘッドセットもサポートしています。

2 PCステーションスロット

このスロットは磁気を帯びており、PCステーションとタブレットをしっかり固定します。

警告:

- PCステーションのスロットは磁気を帯びています。お子様やペットの手の届かない所に保管してください。
- クレジットカードや磁気ディスク等の磁気メディアを近づけるとそれらへダメージを与える場合があります。できる限り近づけないようしてください。
- 強い磁気に本機を近づけないでください。誤作動や故障の原因となります。
- 本機のマグネットはペースメーカーや植え込み型除細動器に影響を与える場合があります。本機を使用される際は、ペースメーカーや除細動器の取扱説明書に記載の注意事項等を守ってご使用ください。

---

③ microUSB 2.0ポート (Android のみ)

タブレットへの電源供給、バッテリーの充電を行うため、このmicroUSB 2.0ポートに付属のmicroUSB-USBアダプターを接続します。タブレットを単独で使用しているときに使用可能です。

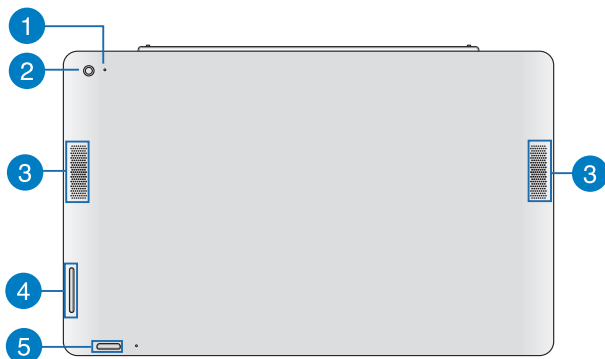
タブレットを単独で使用しているとき、このポートを経由し外部機器からデータをタブレットに転送することもできます。

④ microSDカードスロット

microSDHC/microSDに対応のメモリーカードリーダー用スロットが内蔵されています。

注: Androidシステムが動作中であれば、Windows® 8環境からもmicroSDカードにアクセスが可能です。

背面

重要: バッテリー駆動時間はコンピューターの使用方法、仕様により異なります。バッテリーパックは分解できません。

1 **マイク**

ビデオ会議や、ナレーション、オーディオの録音、マルチメディアアプリケーション等にご利用ください。

2 **カメラ (Android のみ)**

内蔵カメラにより、Android 環境で画像の撮影と動画の録画ができます。

3 **オーディオスピーカー**

搭載のスピーカーにより、タブレットのプログラムイベントなどのサウンドをご確認いただけます。

4 **ボリュームボタン**

システム音量を調節します。

5 **電源ボタン**

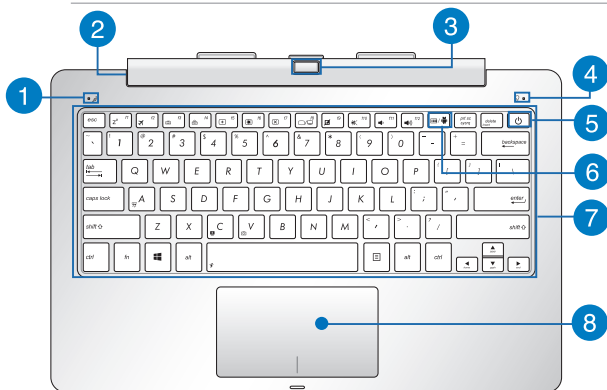
タブレットの電源ONなどを行うことができます。詳細は次の説明をご参照ください。

- タブレットの電源をONにし、Android を起動する際に、電源ボタンを押します。
- タブレット使用時に電源ボタンを押すと、システムをスリープ状態にします。スリープ状態を解除するには、もう1度電源ボタンを押します。
- システムからの応答がなくなった場合は、電源ボタンを約7秒間押し、強制終了することができます。

PCステーション

PCステーションにはキーボードとタッチパッドが搭載されており、ASUS TransBook Trioの入力デバイスとして使用することができます。また、タブレットがPCステーションにドッキングされているとき、あるいは外付けディスプレイがPCステーションに接続されているとき、Windows® 8を使用することができます。

前面

注: キーボードのレイアウトはお買い上げの国や地域により異なります。

1 マイク

ビデオ会議や、ナレーション、オーディオの録音、マルチメディアアプリケーション等にご利用ください。

2 PCステーションヒンジ

PCステーションにタブレットを接続する際に使用します。また、ドッキング時でもタブレットの角度を調整することができます。

3 タブレットリリースボタン

タブレットをPCステーションから取り外す際は、タブレットを固定しているヒンジのロックが解除されるまで、このボタンを押します。

4 電源インジケーター

PCステーションの電源がONでWindows® 8が動作中のときに点灯します。また、PCステーションがスリープ状態のときにゆっくり点滅します。

5 電源ボタン

PCステーションの電源ONなどを行うことができます。詳細は次の説明をご参照ください。

- PCステーションの電源をONにし、Windows® 8を起動する際に、電源ボタンを押します。
- PCステーション使用時に電源ボタンを押すと、Windows® 8をスリープ状態にします。スリープ状態を解除するには、もう1度電源ボタンを押します。
- システムからの応答がなくなった場合は、電源ボタンを約4秒間押し、強制終了することができます。

6 スイッチキー

PCステーション上の特殊キーで、Windows® 8OSとAndroid OSを切り替えることができます。

タブレットとPCステーションをドッキングしASUS TransBook Trioとして使用しているときだけ、このキーを使用することができます。

注: 詳細は「スイッチキーを使用する」をご参照ください。

7 キーボード

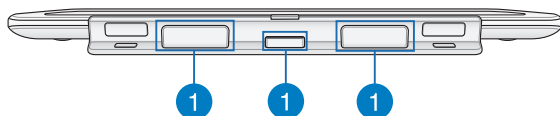
クウォーティー（QWERTY）配列のキーボードには十分なストロークを持たせてあり、パームレストが付いているため快適な操作が可能です。また、Functionキー <Fn>でのコマンドの実行などが可能です。

注: キーボードのレイアウトはお買い上げの地域により異なります。

8 タッチパッド

指先を使用して、カーソルを移動したり画面に表示された項目を選択することができます。タッチパッドはマウスと同等の機能を提供するポインティングデバイスです。

注: 詳細は「タッチパッドの操作」をご参照ください。

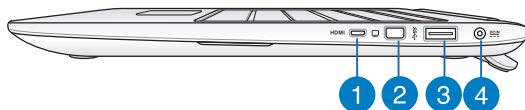
背面

1 **PCステーションタブ**

このタブは磁気を帯びており、PCステーションとタブレットをしっかり固定します。

このタブにタブレットのスロットを接続し、タブレットをPCステーションにドッキングします。ドッキング後は、タブレットをノートパソコンのディスプレイのように使用し、角度も調整することができます。

警告:

- PCステーションのスロットは磁気を帯びています。お子様やペットの手の届かない所に保管してください。
- クレジットカードや磁気ディスク等の磁気メディアを近づけるとそれらへダメージを与える場合があります。できる限り近づけないようにしてください。
- 強い磁気に本機を近づけないでください。誤作動や故障の原因となります。
- 本機のマグネットはペースメーカーや植え込み型除細動器に影響を与える場合があります。本機を使用される際は、ペースメーカーや除細動器の取扱説明書に記載の注意事項等を守ってご使用ください。

右側

1 **micro HDMIポート (Windows® 8のみ)**

micro HDMI対応デバイスを接続します。なお、著作権保護技術のひとつであるHDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)にも対応していますので、HD DVD、Blu-ray、著作権保護コンテンツ等の再生も可能です。

2 **Mini DisplayPortポート (Windows® 8のみ)**

Mini DisplayPortはDisplayPortデジタルオーディオ-ビジュアルインターフェースの小型規格で、VGA、DVI、HDMI規格準拠のデバイスをサポートしています。

3 USB 3.0ポート（USB Charger+対応）* (Windows® 8のみ)

⚡が付いたUSB 3.0ポート はUSB Charger+ 機能対応ポートです。USB充電に対応しているデバイスを特定のUSB3.0ポートで急速充電することができます。

注: 特定モデルではASUS TransBook Trioの電源モード（ON/OFF/スリープ/休止状態）に関わらず、USBデバイスを充電することができます。
※すべてのUSB機器の充電を保証するわけではありません。

---

4 電源入力ポート

付属のACアダプターを接続し、PCステーションに電力を供給しバッテリーを充電します。

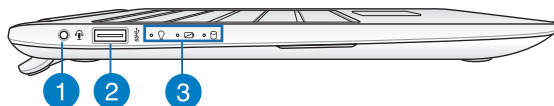
タブレットがドッキングされた状態で電源に接続されている間は、PCステーションとタブレットの両方のバッテリーがこのポートを通じて充電されます。

警告: ACアダプターは使用中高温になることがあります。アダプターをコンセントに接続しているときは、物などで覆ったり人体に接触させたりしないでください。

重要: 付属の電源アダプター以外はPCステーションに接続しないでください。

---

* 特定モデルのみ

左側

1 **ヘッドホン出力&マイク入力コンボジャック**

PCステーションのオーディオ出力信号を外付けのスピーカーやヘッドフォンに接続します。また、特定モデルでは4極対応のヘッドセットもサポートしています。

2 **USB 3.0ポート (Windows® 8のみ)**

このUSB 3.0ポートは、最大5 Gbpsのデータ転送速度を提供し、USB 2.0に下位互換性があります。

Android環境ではUSB2.0ポートとして動作

USBポートはUSB2.0とUSB1.1の互換仕様となっており、キーボード、ポインティングデバイス、カメラ、ハードディスクドライブ、プリンター、スキャナーなどが接続できます。USB1.1接続は最大12Mbps、USB2.0接続は最大480Mbpsの転送速度に対応します。

3 **ステータスインジケーター**

PCステーションのハードウェアの状態を表示します。

電源インジケーター

点灯時はPCステーションの電源はON、点滅時はスリープモードに入っています。また、Windows® 8がすでに起動していることも示します。

バッテリーインジケーター

色でバッテリーの充電状況を表示します。詳細は次の表をご参照ください。

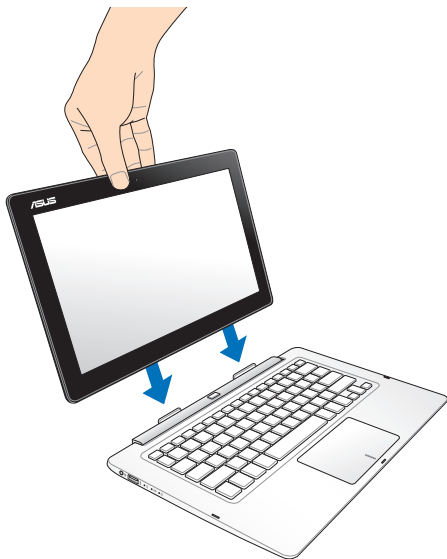
色	状態
グリーン	ACアダプターがPCステーションに接続され充電を行っている状態で、バッテリーの充電レベルは95%～100%です。
オレンジ	• ACアダプターがPCステーションに接続され充電を行っている状態で、バッテリーの充電レベルは95%未満です。 • タブレットがPCステーションに接続され、バッテリーの充電が行われています。タブレットのバッテリー充電レベルは30%未満です。 **注:** システムがスリープ状態、電源OFFの状態でも、充電が行われます。
オレンジ点滅	PCステーションが電源に接続されていない状態で、バッテリー充電レベルは10%未満です。
点灯しない	PCステーションが電源に接続されていない状態で、バッテリー充電レベルは10～100%です。

ドライブアクティビティインジケーター

PCステーションが内蔵記憶装置にアクセスしていることを示します。

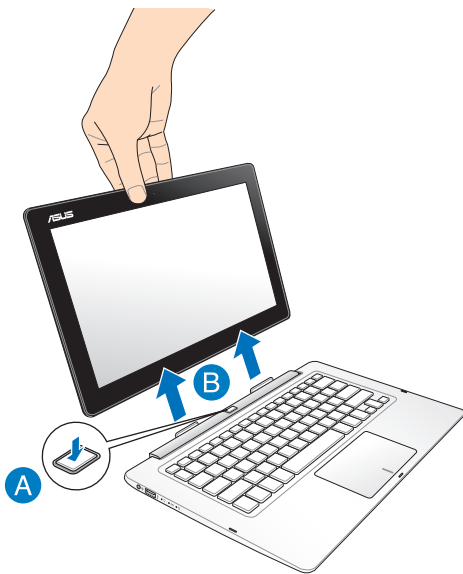
ASUS TransBook Trioとして使用する

両デバイスをドッキングしてASUS TransBook Trioとして使用するときは、下図のようにPCステーションのコネクターとタブレットの位置を合わせ 接続します。

注: PCステーションのスロットとPCステーションのコネクター部分は磁気を帯びています。この磁気により、タブレットをPCステーションに正しく接続することができます。

タブレットのドッキング解除

タブレットとPCステーションを別々のデバイスとして使用するには、下図のようにPCステーションからタブレットをドッキング解除します。

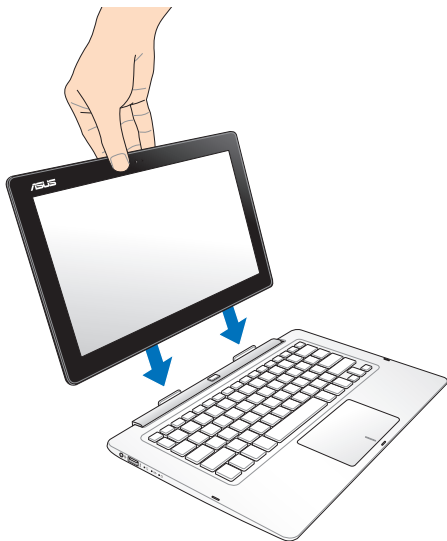
A. タブレットのリリースボタンを押し、PCステーションからタブレットのドッキングを解除します。

B. PCステーションからタブレットを取り外します。

Chapter 2: 使用の手引き

デバイスのセットアップ

ASUS TransBook Trioを使用する

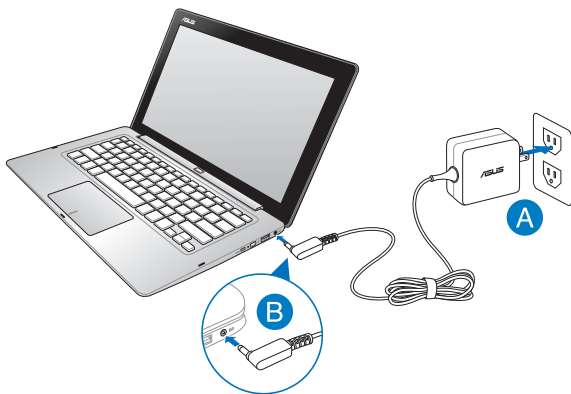
次の手順でASUS TransBook Trioのセットアップを行います。

1. タブレットをPCステーションにドッキングします。

2. ASUS TransBook Trioを充電します。

A. ACアダプターを100V～240Vの電源に接続します。

B. 電源コネクターをASUS TransBook Trioの電源入力ポートに接続します。

初めてバッテリー電源でASUS TransBook Trioを使用する際は、3時間程度充電してください。

注: モデルによってACアダプターの外観は異なります。

重要:

- 入出力定格はASUS TransBook Trio本体に記載があります。ACアダプターが対応していることを確認してください。モデルによっては、複数の定格出力電流があります。
- 本機の電源を初めてONにするときは、電源アダプターが本機に接続されていることをご確認ください。本機を電源アダプターに接続しているときは、接地された壁面の電源コンセントの電源の使用をお勧めします。
- 本機を電源アダプターに接続しているときは、電源コンセントや電源タップの近くでご使用ください。
- 主電源から本機を切断するには、電源ソケットから本機の電源コードを抜いてください。

注:

ACアダプターについて

- 入力電圧: 100-240V
- 入力周波数: 50-60Hz
- 定格出力電流:

  PCステーション: 45W (2.37A)

  タブレット: 10W (2A)
- 定格出力電圧:

  PCステーション: 19V

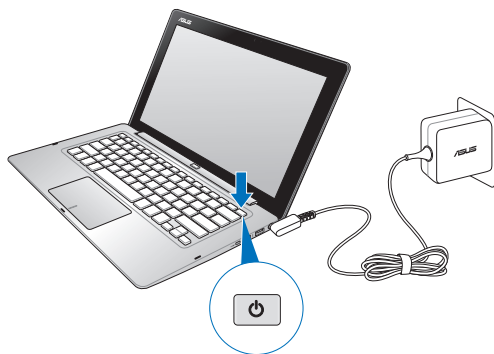
  タブレット: 5V

警告:

ASUS TransBook Trioのバッテリーに関する警告事項をよくお読みください。

- 本機内蔵のバッテリーの取り外しはASUS公認の技術員のみ対応することができます。
- 本機内蔵のバッテリーをお客様ご自身で取り外した、または分解した場合、火事または化学火傷の危険性があります。
- 取り扱いの際は警告ラベルの指示に従ってください。
- ASUS指定以外もしくは本機付属以外のバッテリーに交換した場合、破裂、発火、発熱のおそれがあります。
- バッテリーを火中へ投下する、火気へ近づける、加熱する、高温状態で放置するなどしないでください。
- バッテリーの回路をショートさせないでください。
- バッテリーを分解または改造しないでください。
- 変形、変色、割れ、サビ、液漏れや異臭、異音などを起こしたバッテリーは直ちにその使用を中止してください。
- バッテリーは地域の条例等の指示に従ってリサイクル・処理してください。
- バッテリーおよびその他の部品は、子供の手に届かない場所に保管してください。

3. PCステーションの電源ボタンを押します。

重要: 初めてASUS TransBook Trioを使用する際は、必ず電源アダプターでASUS TransBook Trioに電源が供給されている状態で、電源ボタンを押してシステムを起動してください。

スイッチキーを使用する

両デバイスをドッキングしてASUS TransBook Trioとして使用するときは、このスイッチキーでAndroid とWindows® 8を交互に切り替えて使用することができます。

スイッチキー

以下のシナリオでOSの切り替えが可能です。

1. Android は動作中で、Windows® 8はOFF
2. Windows® 8は動作中で、Android はOFF
3. Android とWindows® 8が動作中

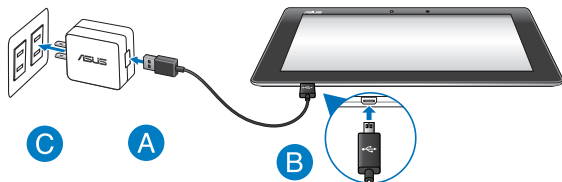
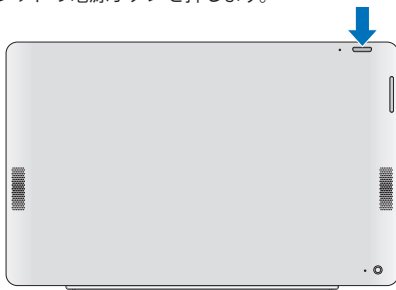
タブレットを使用する

タブレットを単独で使用する場合は、次の手順でご使用ください。

1. タブレットを充電する必要がある場合は、次の手順で電源に接続します。

   A. ACアダプターにmicroUSBケーブルを接続します。

   B. microUSBコネクターをタブレットに挿しこみます。

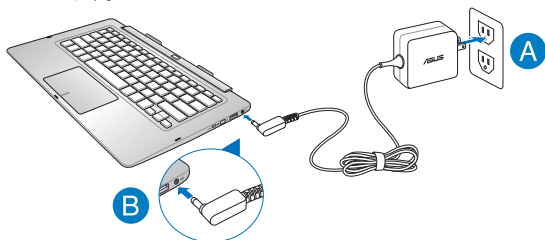
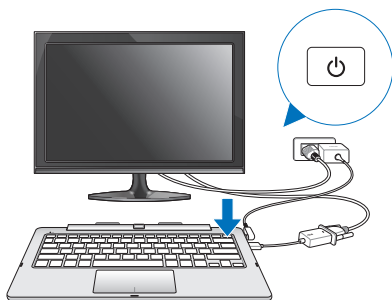
   C. 電源コンセントにACアダプターを接続します。

2. タブレットの電源ボタンを押します。

PCステーションを使用する

PCステーションを単独で使用する場合は、次の手順でご使用ください。

1. 外付けディスプレイにPCステーションを接続します。

2. 電源コンセントにPCステーションを接続します。

   A. ACアダプターを100V～240Vの電源に接続します。

   B. PCステーションの電源入力ポートに電源コネクターを接続します。

3. PCステーションの電源ボタンを押します。

タッチスクリーンとタッチパッドの操作

プログラムの起動、ASUS TransBook Trioの各種設定を行います。タッチスクリーンとタッチパッドの操作方法は次のイラストと説明をご参照ください。

注: ご使用のアプリによっては、以下で紹介する操作に対応していない場合があります。

注: 本マニュアルに記載の写真やアイコンは参照用です。スクリーンパネルの外観はモデルにより異なります。

Windows® 8環境でのタッチスクリーン操作

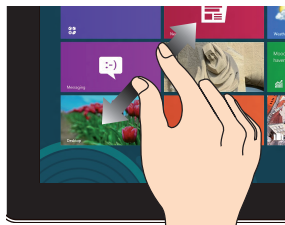
左側からなぞる

左側からなぞり、起動中のアプリを切り替えます。

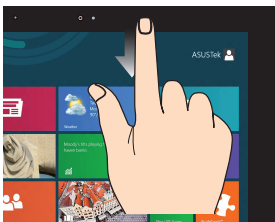
右側からなぞる

画面を右側からなぞり、チャームバーを起動します。

ズームアウト

2本の指先の間隔を狭めることでズームアウトが可能です。

ズームイン

2本の指先の間隔を広げることでズームインが可能です。

上側からなぞる

- スタート画面で、画面の上側からなぞると、すべてのアプリバーが表示されます。
- 起動中のアプリを上側からなぞると、メニューが表示されます。

指でのスライド

指を上下になぞると上下方向へのスクロール、左右になぞると左右へのスクロールができます。

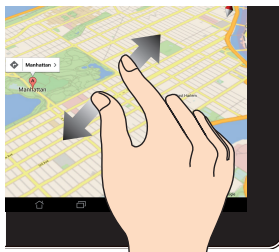
Android 環境でのタッチスクリーン操作

注: 本マニュアルに記載の写真やアイコンは参照用です。スクリーンパネルの外観はモデルにより異なります。また表示されているイメージもAndroidのバージョンによって異なる場合があります。

ドラッグ/タップ＆ホールド/長押し

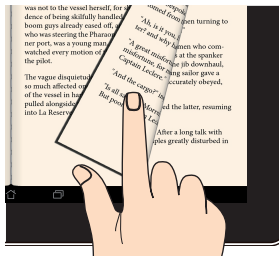
- アプリを移動するには、アプリをタップしたまま移動先までドラッグします。
- ホーム画面からアプリを削除するには、アプリをタップ&ホールドし画面の上に表示される削除スペースまでドラッグします。
- スクリーンショットを撮るには、電源ボタンとボリュームダウンキーを同時に押します。

注: この設定を有効にするには、「**設定**」→「**ASUS カスタマイズ設定**」で「**最近のアプリキーを長押しして、スクリーンショットをキャプチャする**」を選択します。

ズームイン

タッチパネル上で2本の指先の間隔を広げます。

ズームアウト

タッチパネル上で2本の指先の間隔を狭めます。

スワイプ（なぞる）

指を左または右方向になぞると、画面表示が切り替わります。書籍参照時ではページが切り替わります。

タップ/タッチ

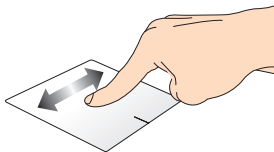
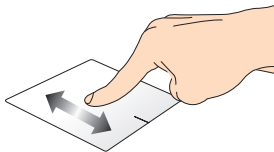
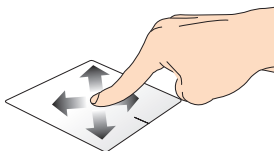
- アプリをタップし起動します。
- ファイルマネージャーでファイルをタップし開きます。

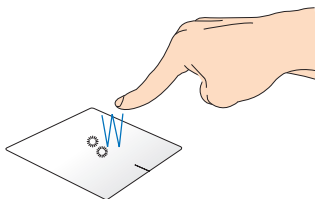
タッチパッドの使用

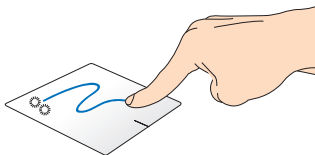
注: ご使用のアプリによっては、以下で紹介する操作に対応していない場合があります。

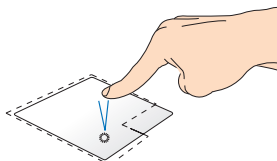
ポインターの移動

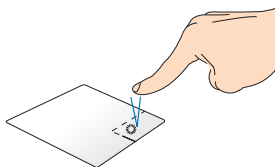
タッチパッド上をクリックした後でそのまま指をスライドすると、画面上のポインターを移動することができます。

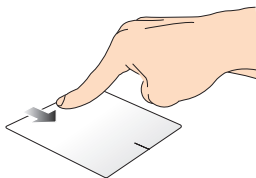
水平にスライド

垂直にスライド

対角線上にスライド

Windows® 8環境での1本指でのタッチパッド操作

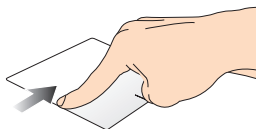
タップ/ダブルタップ

- スタート画面でアプリをタップし起動します。
- デスクトップモードでは、アプリをダブルタップして起動します。

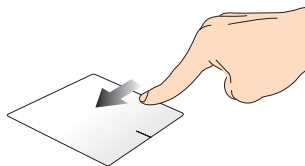
ドラッグ＆ドロップ:

項目をダブルタップし、そのままスライドします。指先をタッチパッドから離すと、ドロップされます。

左クリック

- スタート画面でアプリをクリックし起動します。
- デスクトップモードでは、アプリをダブルタップして起動します。

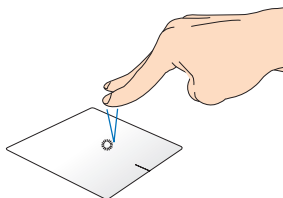
右クリック

- スタート画面でアプリを右クリックし選択し、設定バーを起動します。アプリ上でない場合は、すべてのアプリバーが起動します。
- デスクトップモードでこのボタンを使用して、右クリックメニューを開きます。

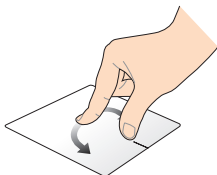
上側からなぞる

- スタート画面で、画面の上側からなぞると、すべてのアプリバーが表示されます。
- 起動中のアプリを上側からなぞると、メニューが表示されます。

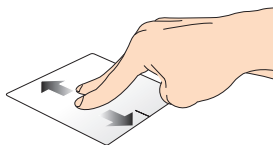
左側からなぞる

左側からなぞり、起動中のアプリをシャッフルします。

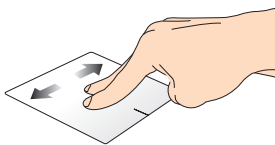
右側からなぞる

右側からなぞり、チャームバーを起動します。

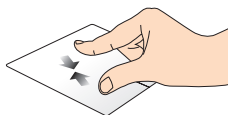
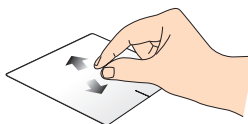
Windows® 8環境での2本指でのタッチパッド操作

タップ

指2本をタッチパッド上でタップすると、マウスの右クリックと同じ操作を行うことができます。

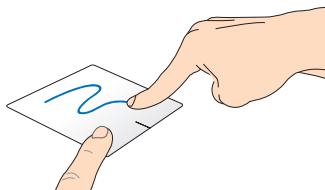
回転

タッチパッド上で指2本を使用し1本を軸にして時計回りまたは反時計回りの円を描き、画像を回転させます。

指2本でのスクロール(上下)

指2本を上下に滑らせると、ウインドウが上下にスクロールします。

指2本でのスクロール(左右)

指2本で左右に滑らせると、ウインドウが左右にスクロールします。

ズームアウト

2本の指先の間隔を狭めることでズームアウトが可能です。

ズームイン

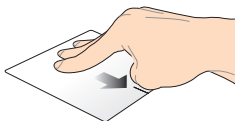
2本の指先の間隔を広げることでズームインが可能です。

ドラッグ＆ドロップ:

項目を選択し、クリックしたままにします。もう1本の指でタッチパッドを目的の方向にスライドすると、項目を別の場所に移動することができます。

Windows® 8環境での3本指でのタッチパッド操作

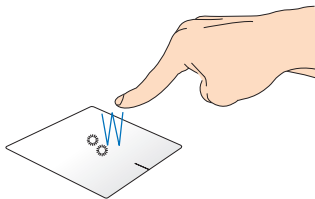
上方向になぞる

3本の指先をタッチパッド上で上方向にスライドし、起動中のすべてのアプリを表示します。

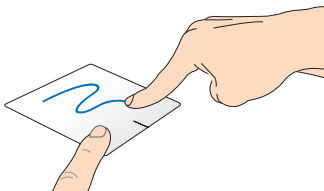
下方向になぞる

3本の指先をタッチパッド上で下方向にスライドし、デスクトップを表示します。

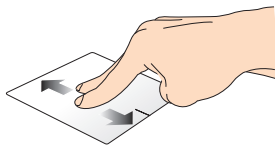
注: モデルにより操作方法が異なる場合があります。また、機能のご利用に設定が必要な場合があります。

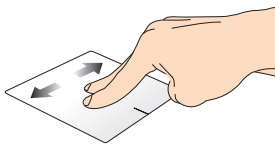
Android 環境での1本指でのタッチパッド操作

タップ/ダブルタップ

- タッチパネルを1回タップし、アプリなどを起動することができます。

Android 環境での2本指でのタッチパッド操作

ドラッグ＆ドロップ:

項目を選択し、クリックしたままにします。もう1本の指でタッチパッドを目的の方向にスライドすると、項目を別の場所に移動することができます。

指2本でのスクロール（上下）

指2本を上下に滑らせると、ウインドウが上下にスクロールします。

指2本でのスクロール（左右）

指2本で左右に滑らせると、ウインドウが左右にスクロールします。

キーボードを使用する

ホットキー

ホットキーについて説明します。コマンドは、Function キー <Fn>を押しながら、コマンドが表記されたキーを押して実行します

fn + f1　ASUS TransBook Trioをスリープ状態にします。

fn + f2　ワイヤレス機能のON/OFFを切り替えます。

注: 機内モード有効時は、全てのワイヤレス接続が無効になります。

fn + f5　ディスプレイの明るさを下げます。

fn + f6　ディスプレイの明るさを上げます。

fn + f7　ディスプレイパネルの電源をOFFにします。

fn + f8　外付けディスプレイの表示を切り替えます。

注: ASUS TransBook Trioに外付けディスプレイが接続されたときに利用できるコマンドです。

fn + f9　タッチパッドを有効または無効にします。

fn + f10　スピーカーのONとOFFを切り替えます。

fn + f11 スピーカーのボリュームを下げます。

fn + f12 スピーカーのボリュームを上げます。

アプリでのホットキー操作

ホットキーでASUSアプリの操作を行うこともできます。

fn + C 「Splendid Video Enhancement Technology」を起動します。このアプリはコントラスト、明るさ、色調、彩度（赤、緑、青を個々に調整）を変更してディスプレイの色彩モードを変えるアプリです。

fn + V カメラアプリケーションを起動します。

fn + ASUS Power4Gear Hybridを起動します。

Windows® 8キー

キーボードには以下の説明のように、2つの特別なWindows® キーがあります。

このキーを押すと、スタート画面に戻ります。スタート画面で押すと、最後に使用した起動中のアプリに戻ります。

マウスの右クリックと同じ操作を行うことができます。

Chapter 3:
Windows® 8環境で使用する

初めて使用する

コンピューターを初めて使用するときは、Windows® 8OSの基本設定を行う設定画面が表示されます。

設定手順

1. PCステーションの電源ボタンを押します。設定画面が表示されるので、暫くお待ちください。
2. ライセンス条項を読み、内容を確認します。「**Windows を使うためのライセンス条項に同意します**」にチェックを入れ、「**同意する**」をクリックします。
3. 画面上に指示に従い、次の各基本設定を行います。
    - パーソナル設定
    - ワイヤレス
    - 設定
    - サインイン
4. 基本設定が完了すると、Windows® 8チュートリアルが表示されます。

注: ご使用の国や地域、環境などにより、手順に差異がある場合があります。その場合は、画面の指示に従って設定を進めてください。

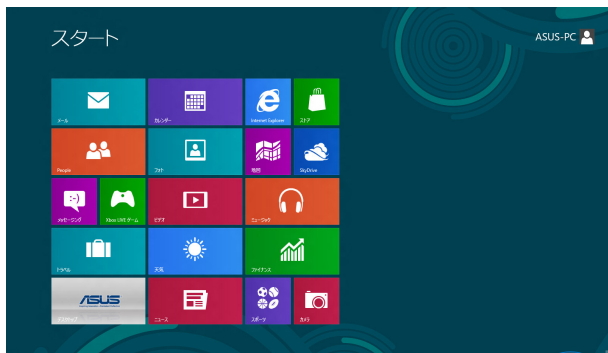
Windows® 8ロック画面

Windows® 8ロック画面はWindows® 8を起動すると表示されます。次に進むには、ロック画面でタッチパッドをタップする、またはPCステーションのキーボードの任意キーを押します。

Windows®UI

Windows® アプリはWindows® 8で使用されるタイル表示のユーザーインターフェースで、スタート画面から簡単にアクセス可能です。次の各機能を利用することができます。

スタート画面

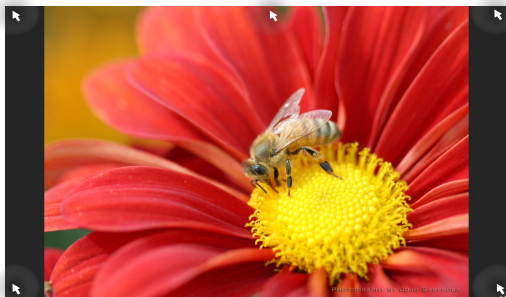
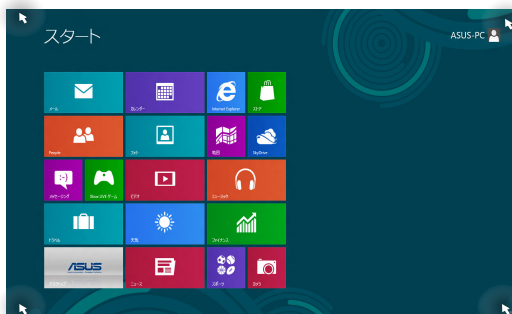
Windows® 8にサインイン後に表示され、Windows®アプリが表示されます。

Windows® アプリ

アプリはスタート画面にピン留めされており、タイル形式で表示されます。

注: 特定のアプリはその機能を十分活用するため、Microsoftアカウントでのサインインが必要になる場合があります。

ホットスポット

プログラムの起動、ASUS TransBook Trioの各種設定を行います。各機能はタッチパッドで有効にすることができます。

起動済みアプリのホットスポット

画面上のホットスポット

ホットスポット	操作
左上	マウスのポインターをこの位置まで移動し、最近使用したアプリのサムネイルをクリックすると、そのアプリが表示されます。
	複数のアプリを起動した状態で、下方向にスライドすると、起動しているアプリが表示されます。
左下	起動中のアプリ画面から: マウスのポインターをこの位置まで移動し、スタート画面のサムネイルをクリックすると、スタート画面に戻ります。 **注:** Windows®キー を押しても同様の操作が可能です。 スタート画面から: マウスのポインターをこの位置まで移動し、最近使用したアプリのサムネイルをクリックすると、そのアプリが表示されます。

ホットスポット	操作
上面	マウスのポインターを手のアイコンに切り替わるまで移動します。アプリをドラッグ&ドロップし、別の場所へ移動することができます。 **注:** このホットスポット機能は起動中のアプリ、またはスナップ機能を使用する場合にのみ動作します。詳細は「Windows®アプリと一緒に使用する」の「スナップ機能」をご参照ください。
右上、右下	マウスのポインターをこの位置まで移動すると、チャームバーが起動します。

Windows®アプリと一緒に使用する

ASUS TransBook Trioのタッチスクリーンパネル、タッチパッド、キーボードを使用し、アプリの起動やカスタマイズ、また、アプリを終了することができます。

アプリの起動

アプリをタップし起動します。

アプリの上にマウスのポインターを合わせ、左クリック、またはタップして起動します。

tab を2回押し、カーソルキーでアプリを選択します。 enter を押すと、選択したアプリが起動します。

アプリのカスタマイズ

スタート画面上でアプリの移動、サイズ変更、ピンの解除を行うことができます。次の手順で行います

アプリの移動

アプリタイルをタップしたまま目的の場所までドラッグします。

アプリをダブルタップし、目的の場所までドラッグします。

アプリのサイズ変更

1. アプリタイルを下方向へなぞり、設定バーを起動します。

2. 「**小さくする**」、または「**大きくする**」をタップします*。

アプリ上で右クリックし、設定メニューを表示し、「**小さくする**」

または「**大きくする**」

をクリックします。

ピン留めの解除

1. アプリタイルを下方向へなぞり、設定バーを起動します。

2. 「**スタート画面からピン留めを外す**」

をタップします。

アプリ上で右クリックし、設定バーを起動し、「**スタート画面からピン留めを外す**」をタップします。

アプリの終了

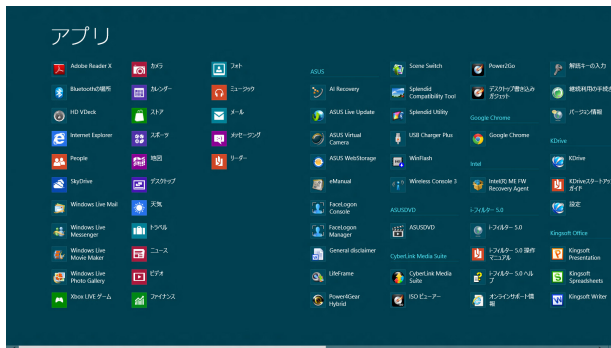
起動中のアプリの上側をタップしたまま画面下までドラッグします。

1. 起動したアプリの上側にマウスのポインターを当て、ポインターが手のアイコンになるまで待ちます。

2. アプリを画面下までドラッグ&ドロップし、アプリを終了します。

終了させるアプリの画面から alt + f4 を押します。

すべてのアプリ画面へのアクセス

スタート画面にピンされたアプリ以外にも、ASUS TransBook Trioに搭載のASUSアプリ等、他のアプリをすべてのアプリ画面から起動することができます。

水平スクロールバー

すべてのアプリの起動

ASUS TransBook Trioのタッチスクリーンパネル、タッチパッド、キーボードを使用し、すべてのアプリ画面を開きます。

1. 画面の上側または下側からなぞり、すべてのアプリバーを起動します。

2. 「**すべてのアプリ**」 をタップし、ASUS TransBook Trioにインストールされたアプリをすべて表示します。

上側からなぞり、すべてのアプリバーを起動します。

します。

スタート画面へのアプリの追加

タッチスクリーンパネルまたはタッチパッドを使用し、スタート画面にアプリを追加することができます。

1. すべてのアプリ画面でアプリを下方向になぞり、設定バーを選択し起動します。

2. 「**スタート画面にピン留めする**」

を タップし、選択したアプリをスタート画面に追加します。

1. スタート画面に追加したいアプリの上にマウスのポインターを当てます。

2. アプリ上で右クリックし、設定メニューを表示させます。

3. 「**スタート画面にピン留めする**」

を タップします。

チャームバー

チャームバーは画面右側に表示されるツールバーです。アプリケーションの共有などの操作やASUS TransBook Trioのカスタマイズ設定へ簡単にアクセスできます。

チャームバー

チャームバーの起動

注: チャームバーは起動すると、前項の画像のように表示されます。

タッチスクリーンパネル、タッチパッド、キーボードを使用し、チャームバーを起動します。

画面を右側からなぞり、チャームバーを起動します。

マウスのポインターを画面右上または右下まで移動します。

[Windows] + [C] を押します。

チャームバーのコンテンツ

検索

ASUS TransBook Trio内のファイルやアプリ、プログラムを検索します。

共有

ソーシャルネットワークサービス(SNS)やメールなどを使用し、アプリを共有します。

スタート

画面をスタート画面に戻します。スタート画面から使用していたアプリに戻ることもできます。

デバイス

外付けモニターやプリンター 等、ASUS TransBook Trioと接続したデバイスに関する操作を行います。

設定

ASUS TransBook Trioの各種設定を行います。

スナップ機能

ASUS TransBook Trio上で2つのアプリケーションを同時に操作することができます。この機能を有効にすると、スナップした際にサイドバーが表示され、ディスプレイを2分割します。

重要: スナップ機能の利用には、1366×768ピクセル以上の解像度が必要です。

スナップを有効にする

ASUS TransBook Trioのタッチスクリーンパネル、タッチパッド、キーボードを使用し、スナップ機能の起動と操作を行います。

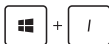
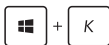
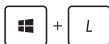
1. アプリを起動します。
2. アプリの上の部分をタップしたまま、スナップバーが表示されるまで画面の左側または右側までドラッグします。
3. 他のアプリを起動します。

1. アプリをタップし、起動します。
2. マウスのポインターを画面の上側に移動します。
3. ポインターが手のアイコンに切り替わったら、アプリをディスプレイパネルの左側/右側にドラッグ&ドロップします。
4. 他のアプリを起動します。

1. アプリをタップし、起動します。
2. ⊞ + > . を押します。
3. 他のアプリを起動します。

その他キーボードのショートカット

次のショートカットを使用し、アプリケーションの起動やWindows® 8の操作が可能です。

キー	説明
Windowsキー	スタート画面と最後に使用した起動中のアプリを切り替えます。
Windowsキー + D	デスクトップを起動します。
Windowsキー + E	デスクトップモードでコンピュータウィンドウを起動します。
Windowsキー + F	チャームバーの「ファイル」を開きます。
Windowsキー + H	チャームバーの「共有」を開きます。
Windowsキー + I	チャームバーの「設定」を開きます。
Windowsキー + K	チャームバーの「デバイス」を開きます。
Windowsキー + L	ロック画面を有効にします。

Windows + P	「セカンドスクリーン」 画面を開きます。
Windows + Q	アプリ検索画面を開きます。
Windows + R	「ファイル名を指定して実行」 画面を開きます。
Windows + U	「コンピューターの簡単操作センター」 を開きます。
Windows + W	チャームバーの 「設定」 を開きます
Windows + X	Windows®のPower User Tasksメニューを開きます。
Windows + enter	ナレーターの設定を開きます。

ワイヤレスネットワークへの接続

Wi-Fi

ASUS TransBook Trioに搭載のWi-Fi機能により、SNSを使用したアプリの共有、メールの閲覧、インターネットサーフィン等がお楽しみいただけます。

重要: 機内モードを有効にすると、無線接続は無効になります。Wi-Fi 機能を使用する際は、「機内モード」をOFFにする必要があります。

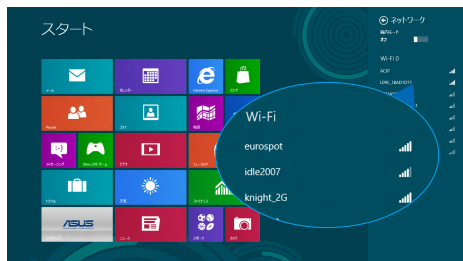
Wi-Fiを有効にする

タッチスクリーンパネル、キーボードを使用し、次の手順でASUS TransBook Trioに搭載のWi-Fi機能を有効にします。

または

1. チャームバーを起動します。

2. 「**設定**」をタップ/クリックし「**Wi-Fi 機能**」をタップ/クリックします。

3. 利用可能なWi-Fi接続のリストからアクセスポイントを1つ選択します。

または

4.　「**接続**」をタップ/クリックし、ネットワーク接続を開始します。

注: Wi-Fi接続を開始するときに、セキュリティキーの入力が求められる場合があります。

5.　ASUS TransBook Trioと他の無線システムで接続を共有する場合は、「**はい、共有をONにしてデバイスに接続します**」をタップします。共有しない場合は、「**いいえ、共有をONにせずデバイスに接続しません**」をタップ*/クリックします。

注: 特定モデルでは、5.2/5.3GHz帯をサポートする無線LANモジュールを搭載しておりますが、電波法により5.2/5.3GHz帯は屋内使用に限ります。

Bluetooth (特定モデルのみ)

Bluetoothデバイス間では、ファイル転送、インターネット接続やネットワーク接続の共有などが可能です。

重要: 機内モードを有効にすると、無線接続は無効になります。Bluetooth機能を使用する際は、「機内モード」をOFFにする必要があります。

Bluetooth対応デバイスとのペアリング

データ転送を可能にするために、他のBluetooth対応デバイスとASUS TransBook Trioのペアリングを行う必要があります。タッチスクリーンパネル* またはタッチパッドを使用し、次の手順で設定を行います。

または

1. チャームバーを起動します。
2. 「**設定**」

をタップ/クリックし、「**PC設定の変更**」をタップ/クリックします。
3. 「**PC設定**」の「**デバイス**」を選択し、「**デバイスの追加**」をタップ/クリックし、Bluetooth対応デバイスを検索します。

または

4. リストからデバイスを選択し、画面の指示に従いペアリングを行います。

注: 一部のBluetooth対応デバイスでは、ASUS TransBook Trioのパスコードを入力するよう求められる場合があります。

航空機内での使用について

機内モードを有効にすると、無線接続は無効になります。

機内モードを有効にする

または

1. チャームバーを起動します。
2. 「**設定**」

をタップ/クリックし、
「**Wi-Fi機能**」

をタップ/クリックします。
3. スライドバーを右に移動し機内モードをONにします。

fn + f2 を押します。

機内モードを無効にする

または

1. チャームバーを起動します。
2. 「**設定**」

をタップ/クリックし「**Wi-Fi機能**」

をタップ/クリックします。
3. スライドバーを左に移動すると無効になります。

fn + f2 を押します。

注: 多くの航空会社では、電子機器の使用に対して規定を設けています。航空機内でのASUS TransBook Trioの使用については、各航空会社にお問い合わせください。

有線ネットワークへの接続

ASUS TransBook TrioのLANポートを使用し、ASUS TransBook Trioを LANネットワークやブロードバンドインターネット接続等の有線ネットワークに接続することができます。

注: インターネット接続セットアップ時の詳細やサポートについては、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダ（ISP）にご確認ください。

設定を行うには、次の手順をご参照ください。

重要: 設定を行う前に、ネットワークケーブルでASUS TransBook TrioのLANポートとローカルエリアネットワークが接続されていることをご確認ください。

動的（ダイナミック）IP/PPPoEのネットワーク接続の設定

1. デスクトップを起動します。
2. Windows®のタスクトレイから、ネットワークアイコン を右クリックし、「**ネットワークと共有センターを開く**」をクリックします。
3. ネットワークと共有センターで、「**アダプター設定の変更**」をクリックします。
4. LAN上で右クリックし、「**プロパティ**」を選択します。

5. 「**インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）**」をクリックして「**プロパティ**」をタップします。

6. 「**IPアドレスを自動的に取得する**」をクリックし「**OK**」をタップします。

注: PPPoE接続を使用する場合は、次の手順に進んでください。

---

7. 「**ネットワークと共有センター**」に戻り、「**新しい接続またはネットワークのセットアップ**」をタップします。

8. 「**インターネットに接続します**」をクリックし「**次へ**」を選択します。

9. 「**ブロードバンド（PPPoE）**」をクリックします。

10. ユーザー名、パスワード、接続名を入力し、「**接続**」をタップします。

11. 「**閉じる**」をクリックし、設定を終了します。

12. タスクトレイの をタップし、上の手順で作成した接続をタップします。

13. ユーザー名とパスワードを入力し、「**接続**」をタップし、インターネットへの接続を開始します。

静的（スタティック）IPのネットワーク接続の設定

1. 動的IP/PPPoEのネットワーク接続の設定の手順1～5を行います。
2. 「**次のIPアドレスを使う**」をタップします。
3. ご利用のサービスプロバイダ提供のIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力します。
4. 必要に応じ、優先DNSサーバーのアドレスと代替DNSサーバーのアドレスを入力し、「**OK**」をタップします。

ASUS TransBook Trioの電源をOFFにする

次のいずれかの手順で電源をOFFにすることができます。

または

- チャームバーから「**設定**」

をタップ/クリックし、「**電源**」

をタップ/クリックします。続いて「**シャットダウン**」をタップ/クリックし、ASUS TransBook Trioをシャットダウンします。

- ログイン画面から「**電源**」をタップ/クリックし、「**シャットダウン**」をタップ/クリックします。

- デスクトップモードでもASUS TransBook Trioをシャットダウンすることができます。デスクトップモードを起動し、<alt + f4>を押しシャットダウンウィンドウを起動します。ドロップダウンリストから「**シャットダウン**」を選択し、「**OK**」を選択します。

- システムからの応答がなくなった場合は、電源ボタンを約4秒間押し、強制終了することができます。

ASUS TransBook Trioをスリープ状態にする

スリープモードにするには、電源ボタンを1回押します。設定によっては、休止状態/シャットダウンに移行することもできます。

デスクトップモードでもASUS TransBook Trioをスリープ状態にすることができます。デスクトップモードを起動し、<alt + f4>を押し、シャットダウンウィンドウを起動します。「**スリープ**」を選択し、ドロップダウンリストから「**OK**」を選択します。

Chapter 4:
Android環境で使用する

初めて使用する

タブレットを初めて起動するときは、Android のセットアップ画面が表示されます。画面の指示に従って、セットアップを実行してください。

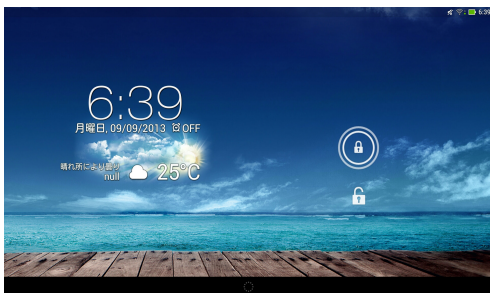
設定手順

1. タブレットの電源をONにします。
2. 使用する言語を選択し、▷をタップします。
3. 入力方式またはキーボードフォーマットを選択し、▷をタップします。
4. 利用可能なWi-Fi ネットワークのリストからネットワークを選択し、▷をタップします。ネットワーク接続の設定を行わない場合は、▷をタップします。

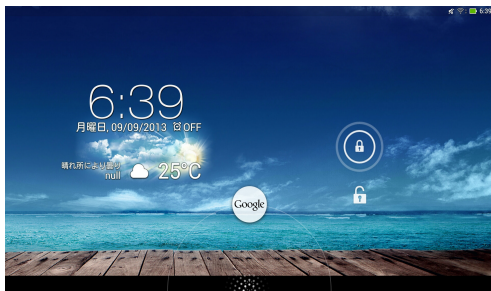
注: 特定のWi-Fi ネットワークではパスワードの入力が必要な場合があります。

5. データ同期の種類を選択し、▷をタップします。
6. メールの閲覧やSNSへのアクセス、ファイルのダウンロードに使用するアカウントを作成します。表示される指示に従って設定を行い、▷をタップします。
7. 位置情報サービスの設定を有効にし、▷をタップします。
8. 日付と時刻を設定し、▷をタップし、セットアップを終了します。

注: ご使用の国や地域、環境などにより、手順に差異がある場合があります。その場合は、画面の指示に従って設定を進めてください。

Androidロック画面

デバイスのロック解除

Google Now

システムバー上の をタップし、Googleアイコンまでドラッグします。

Google Now

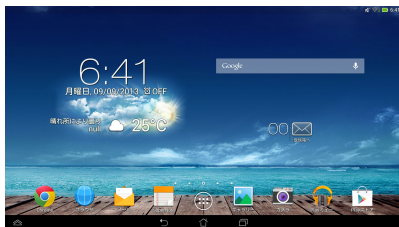
Google Nowは天気予報や近くにあるレストラン、フライトスケジュール、予定やイベント等の情報を、ウェブ履歴や同期したカレンダー、お知らせなどに応じて表示することができます。

ホーム画面

通知と設定
6:41
Google
6:41
月曜日, 09/09/2013 OFF
晴れ所により曇り
null
25°C
すべての
アプリ
画面を開く
アプリの
ショートカット
Chrome
ブラウザ
メール
SuperNote
カメラ
実行中のアプリを表示
ホーム画面に戻ります
前の画面に戻る
Androidユーティリティ
へのショートカット

画面表示

内蔵のセンサーにより、本機を回転させると画面表示もそれに応じて、ポートレートまたはランドスケープに自動的に切り替わります。
ポートレート表示とランドスケープ表示を切り替えるには、タブレットを右または左に回転させるか、水平または垂直に傾けます。

ランドスケープ

ポートレート

画面の向きを固定する

初期設定では、タブレットを回転させると画面の表示向きもポートレートまたはランドスケープに自動的に切り替わります。

次の手順で画面の自動回転を無効にすることができます。

1. ホーム画面の をタップし、すべてのアプリ画面を開きます。

2. →「**ユーザー補助**」→「**画面の自動回転**」の順にタップし、自動回転を解除します。

注: 自動回転機能は「**ASUSクイック設定**」でも有効/無効を設定することができます。詳細はセクション「設定」をご参照ください。

ネットワークへの接続

Wi-Fi ネットワークへの接続

Wi-Fi ワイヤレスネットワークにより、無線環境でのデータ通信が可能です。Wi-Fi を利用するにはASUS TransBook TrioのWi-Fi 機能を有効にし、ワイヤレスネットワークに接続する必要があります。特定のワイヤレスネットワークはセキュリティキーやデジタル証明書により保護されており、詳細設定が必要な場合があります。

注: バッテリーの電力消費を抑えるため、Wi-Fi 接続を使用しないときは、Wi-Fi 接続をOFFにすることをお勧めします。

Wi-Fi 機能を有効にし、Wi-Fi ネットワークに接続する

1. をタップし、すべてアプリ画面を開き、 設定 をタップします。
2. Wi-Fi スイッチをスライドし「**ON**」にします。Wi-Fi 機能を有効にすると、ASUS TransBook Trioは利用可能なWi-Fi ネットワークのスキャンを開始します。
3. ネットワークをタップして選択し接続します。セキュリティにより保護されている場合、パスワードまたはキーの入力が必要となります。

注: 以前に接続したことがあるネットワークを検出した場合は、自動的に接続されます。

注: 特定モデルでは、5.2/5.3GHz帯をサポートする無線LANモジュールを搭載しておりますが、電波法により5.2/5.3GHz帯は屋内使用に限ります。

Bluetoothを使用する

Bluetooth機能のON/OFFの切り替え

Bluetoothはワイヤレス規格の1つで、短距離間でのデータ通信が可能です。Bluetoothはスマートフォンやコンピューター、タブレットデバイス、ヘッドセット等の多くの製品で採用されています。

Bluetoothは近距離にある複数のデバイス間でデータ通信を行う際に非常に便利です。

Bluetoothデバイスに初めて接続する際は、TransBook Trioとのペアリングを実行する必要があります。

注: バッテリーの電力消費を抑えるため、Bluetooth接続を使用しないときは、Bluetooth接続をOFFにすることをお勧めします。

次のいずれかの手順で、BluetoothのON/OFFを切り替えることができます。

- をタップし、すべてアプリ画面を開き、 をタップします。Bluetoothスイッチをスライドし、ONに切り替えます
- タスクトレイを下方向にスライドし、「**ASUSクイック設定**」パネルを表示し、をタップします。

ASUS TransBook TrioとBluetoothデバイスのペアリング

BluetoothデバイスとTransBook Trioで通信を行うには、ペアリングを実行する必要があります。ペアリングが1度完了すれば、接続を解除しない限りペアリングされた状態となります。

手順

1. をタップし、すべてアプリ画面を開き、 設定 をタップします。Bluetoothスイッチをスライドし、ONに切り替えます。

2. 「**Bluetooth**」をタップし、利用可能なBluetoothデバイスを全て表示します。

注意:

- ペアリングしたいデバイスが表示されない場合は、そのデバイスのBluetooth機能がONになっており、検出可能な状態であることを確認します。
- Bluetooth機能をONにし検出可能な状態にする方法は、デバイスの取扱説明書をご参照ください。

---

3. Bluetoothデバイスの準備ができる前にTransBook Trioがスキャンを終了した場合は、「**デバイスの検索**」をタップします。

4. 利用可能なデバイスのリストからペアリングを行うBluetoothデバイスをタップします。画面上の指示に従ってペアリングを行います。必要に応じデバイスの取扱説明書をご参照ください。

ASUS TransBook TrioとBluetoothデバイスの接続

ペアリングが1度完了すると、Bluetooth信号受信範囲であれば手動で簡単に再接続できます。

手順

1. をタップし、すべてアプリ画面を開き、をタップします。Bluetoothスイッチをスライドし、ONに切り替えます。

2. 「**使用可能なデバイス**」のリストからペアリング済みのデバイスをタップします。

ペアリングの解除とBluetoothデバイスの設定

手順

1. をタップし、すべてアプリ画面を開き、 をタップします。Bluetoothスイッチをスライドし、ONに切り替えます。

2. 「**Bluetooth**」をタップし、設定またはペアリングを解除するBluetoothデバイスの脇に表示される をタップします。

3. ペアリング済みのデバイスの画面では次の操作が可能です。

   - 「**ペアを解除**」をタップしペアリングを解除する。
   - 「**名前を変更**」をタップしBluetoothデバイスの名前を変更する。
   - リスト表示された任意のプロファイルをタップし、プロファイルの有効/無効を設定する。

4. システムバー上の をタップし、前の画面に戻ります。

アプリの管理

アプリのショートカットの作成

ホーム画面にアプリのショートカットを作成することができます。

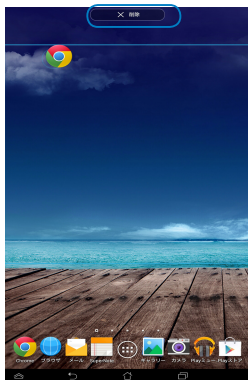
手順

1. (アイコン)をタップし、すべてのアプリ画面を開きます。
2. すべてのアプリ画面からアプリのアイコンをタップ&ホールドし、ホーム画面にドラッグします。

アプリをホーム画面から削除する

ホーム画面のアプリやショートカットを削除することができます。

手順

1. アプリを「**× 削除**」が表示されるまでタップ&ホールドします。
2. そのまま「**× 削除**」にドラッグし、ホーム画面から削除します。

アプリフォルダーを作成する

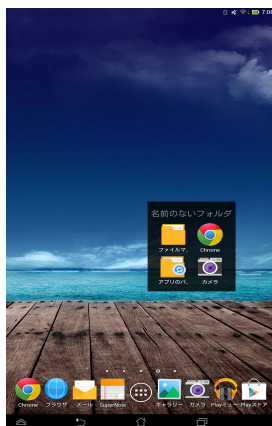
フォルダーを作成し、ホーム画面のショートカットを整理することができます。

手順

1. ホーム画面でアプリまたはショートカットをタップし、ホールドしたまま、他のアプリまたはショートカットの上にドラッグします。

注意:

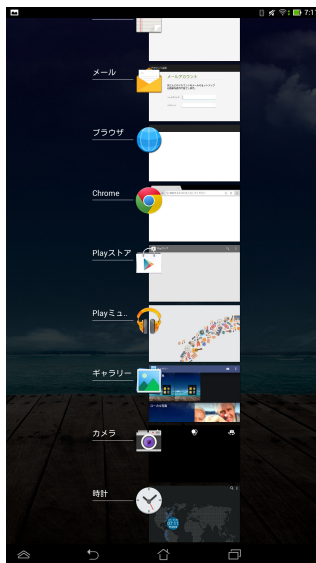
- 作成したフォルダーは、黒い四角の中に表示されます。
- フォルダーには複数のアプリを追加することができます。

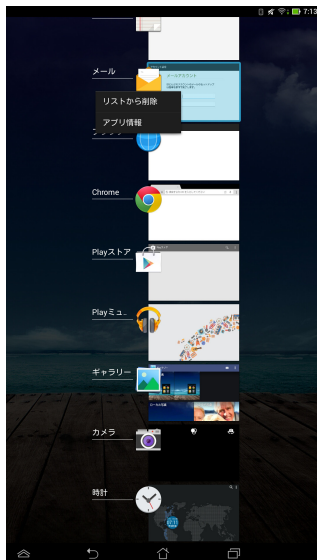
2. 新しいフォルダーをタップし、「**名前のないフォルダ**」をタップしてフォルダーに名前を付けます。

最近使用したアプリ

この画面には最近使用したアプリのショートカットが表示されます。使用したアプリを再度開く、またアプリを切り替えるときに便利です。

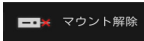
手順

1. ホーム画面下の をタップします。

2. 最近起動したアプリがリスト表示されます。起動したいアプリをタップします。

実行中のアプリを表示

1. アプリをタップ&ホールドし、そのメニューを表示します。
2. リストからアプリを削除するには、「**リストから削除**」を選択します。アプリの情報を表示するには、「**アプリ情報**」を選択します。

注: アプリをスクリーン外になぞることで、リストからアプリを削除することもできます。

ファイルマネージャー

内蔵記憶装置または接続した外付け記憶装置内のデータを簡単に管理することができます。

内蔵記憶装置へのアクセス

手順

1. をタップし、すべてのアプリ画面を開きます。

2. →「**内部ストレージ**」の順にタップし、ASUS TransBook Trio内のコンテンツを選択し参照します。microSDカードが挿入されている場合は、「**MicroSD**」をタップし、microSDカード内のコンテンツを参照します。

3. をタップし、My Storageのルートディレクトリに戻ります。

外付け記憶装置へのアクセス

手順

1. 画面上部の通知バーを下方向になぞり、通知ボックスを表示させます。

2. 開く をタップし、microSDカード内のコンテンツを表示します。TransBook TrioからmicroSDカードを取り外すには、マウント解除 をタップします。

重要: TransBook TrioからmicroSDカードを取り外す際は、事前にmicroSDカード内のデータを保存してください。

コンテンツのカスタマイズ

ファイルマネージャーでは、内蔵記憶装置または外付け記憶装置内のコンテンツのコピーや切り取り、削除などが可能です。

ファイルまたはフォルダーをカスタマイズする際は、ファイルまたはフォルダーの横にあるボックスをチェックします。続いてアクションバーが画面の右上に表示されます。

設定

ASUS TransBook Trioのシステム設定を行うことができます。このシステムアプリでは、ASUS TransBook Trioのワイヤレス接続、ハードウェア、個人設定、アカウントとシステム設定を行うことができます。

設定画面を起動するには2つの方法があります。

1. すべてのアプリ画面から、設定 をタップし、設定画面を起動します。
2. 画面上部の通知バーを下方向になぞり、「ASUSクイック設定」を表示させ、 をタップします。

Android をOFFにする

次のいずれかの操作で、Android OSをシャットダウンすることができます。

注: 次の操作を行うと、タブレットをシャットダウンします。ただし、タブレットがASUS TransBook Trioの一部としてドッキングされ使用中の場合は、PCステーションを別でシャットダウンする必要があります。。

- 電源ボタンを約2秒間押し、「**電源を切る**」→「**OK**」の順にタップします。

重要: 強制終了により、保存が完了していない作業中のデータなどは削除される場合があります。データの損失を防ぐため定期的なデータのバックアップを強くお勧めします。

タブレットをスリープ状態にする

タブレットをスリープ状態にするには、電源ボタンを1度押します。

ASUS Tablet を初期化する

内蔵ストレージのデータ初期化

1. (アイコン)をタップしすべてのアプリ画面を開きます。

2. 「**設定**」をタップし「**バックアップとリセット**」を開きます。

3. 「**データの初期化**」をタップし「**タブレットをリセット**」をタップします。

4. 最終確認の「**すべて消去**」をタップするとOSが再起動され初期化作業が開始されます。

5. 初期化が終わるとAndroid OSのセットアップ画面が表示されます。

注：上記操作を行う場合、必ず事前に重要なデータのバックアップや必要な設定項目のメモをお取りください。

Chapter 5:
Power-On Self-Test（POST）

Power-On Self-Test (POST)

Power-On Self-Test (POST) はシステム起動時に実行されるシステム自己診断テストです。パワーオンセルフテスト (POST) 。

BIOSとトラブルシューティングにアクセスする

POST実行中は、ASUS TransBook TrioのFunctionキー操作でBIOS Setupプログラムへのアクセス、トラブルシューティングの実行が可能です。詳細は以降の記載をご参照ください。

BIOS

Basic Input and Output System (BIOS) はシステムの起動に必要なハードウェアを制御するプログラムです。

BIOSのデフォルト設定は通常の使用環境で、最適なパフォーマンスを実現できるように設定されています。以下の状況以外では、デフォルト設定のままで使用することをお勧めします。

- システム起動時にエラーメッセージが表示され、BIOS Setupを起動するように指示があった場合。
- BIOS設定を必要とするコンポーネントをシステムに取り付けた場合。

警告: 不適切な設定を行うと、システムが起動しない、または不安定になるといった症状が出ることがあります。設定を変更する際は、専門知識を持った技術者のアドバイスを受けることを強くお勧めします。

BIOS Setupへのアクセス

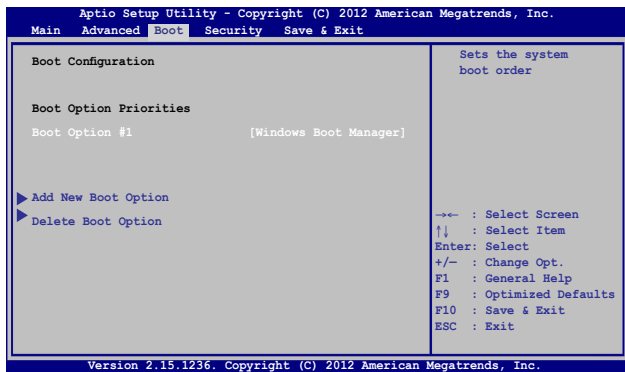
システムを再起動し、 POST中に [f2] を押します。

BIOS設定

注: 本マニュアルに記載の図や画面は参考用です。実際の画面はモデルや地域により異なる場合があります。

Boot (起動)

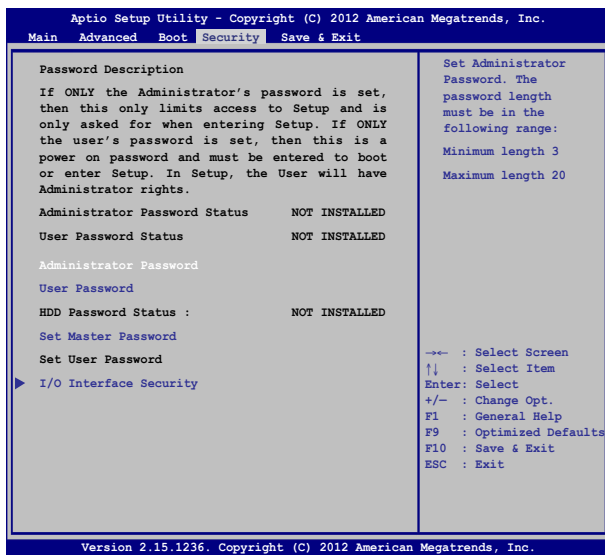
このメニューでは、ブートオプションの優先順位を設定することができます。次の手順に従って設定します。

1. 「**Boot**」画面で「**Boot Option #1**」を選択します。

2. enter を押し、「**Boot Option #1**」のデバイスを選択します。

Security (セキュリティ)

このメニューでは、管理者パスワードとユーザーパスワードを設定することができます。また、ASUS TransBook Trioの記憶装置、入力/出力（I/O）インターフェース、USBインターフェースへのアクセスを制御することがもできます。

注:

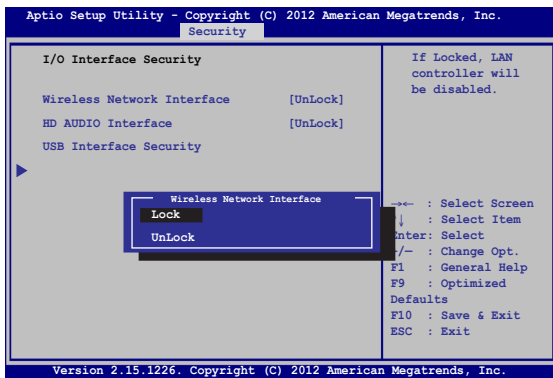
- 「**User Password**」を設定すると、OSを起動する際にパスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。
- 「**Administrator Password**」を設定すると、BIOSを起動する際にパスワードの入力を求めるプロンプトが表示されます。

パスワードの設定

1. 「**Security**」タブを選択し、「**Administrator Password**」または「**User Password**」を選択します。
2. パスワードを入力し、enter を押します。
3. パスワードを再入力し、enter を押します。

パスワードを削除する

1. 「**Security**」タブを選択し、「**Administrator Password**」または「**User Password**」を選択します。
2. 現在のパスワードを入力し、enter を押します。
3. 「**Create New Password**」の欄を空欄にしたまま、enter を押します。
4. 確認ボックスで「**Yes**」を選択し、enter を押します。

I/O Interface Security（I/Oインターフェースセキュリティ）

Securityメニューでは、I/Oインターフェースセキュリティにアクセスし、ASUS TransBook Trioの一部のインターフェース機能をロック/ロック解除することができます。

インターフェースをロックする

1. 「**Security**」画面で「**I/O Interface Security**」を選択します。

2. ロックするインターフェースを選択し、 enter を押します。

3. 「**Lock**」を選択します。

USB Interface Security（USBインターフェースセキュリティ）

I/Oインターフェースセキュリティメニューでは、USBインターフェースセキュリティにアクセスし、ポートとデバイスをロック/ロック解除することができます。

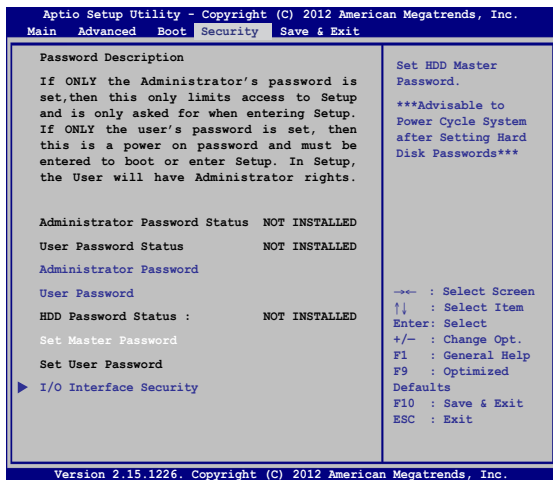
USBインターフェースをロックする

1. 「**Security**」画面で「**I/O Interface Security**」→「**USB Interface Security**」の順に選択します。

2. ロックするインターフェースを選択し、「**Lock**」を選択します。

注: 「**USB Interface**」を「**Lock**」に設定すると、「**USB Interface Security**」の「**External Ports**」と他のデバイスはロックされ、非表示になります。

マスターパスワードの設定

Securityメニューの「**Set Master Password**」オプションでは、パスワードによる内蔵記憶装置へのアクセス制御の設定が可能です。

記憶装置のパスワードを設定する

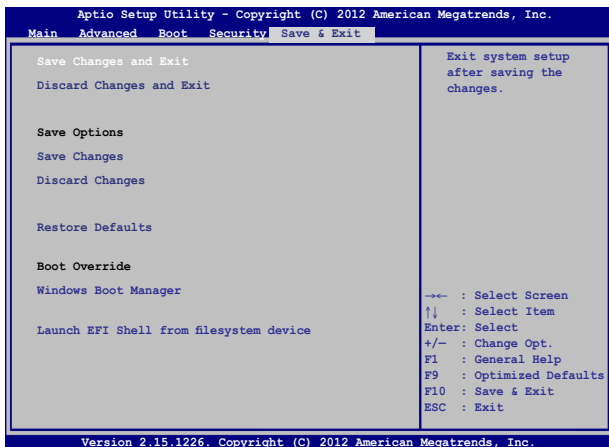
1. 「**Security**」画面で「**Set Master Password**」を選択します。

2. パスワードを入力し、 enter を押します。

3. パスワードを再入力し、 enter を押します。

4. 「**Set User Password**」を選択し、上記の手順と同様にユーザーパスワードを設定します。

Save & Exit（保存して終了）

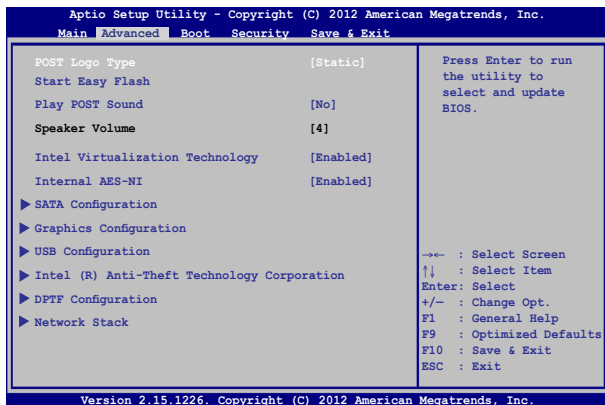
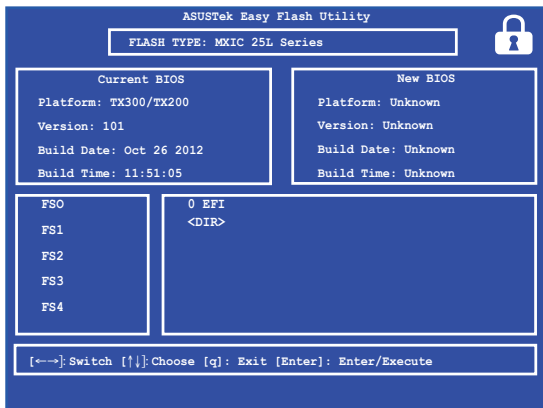
設定変更を保存するには、BIOSを終了する前に「**Save Changes and Exit**」を選択します。

BIOS更新

1. ASUSオフィシャルサイトからASUS TransBook Trioのモデルを確認し、最新のBIOSファイルをダウンロードします。

2. USBメモリーなどにダウンロードしたBIOSファイルのコピーを保存します。

3. BIOSファイルを保存したデバイスをノートパソコンに接続します。

4. POST中に f2 を押し、ASUS TransBook Trioを再起動します。

5. BIOSメニューから「**Advanced**」→「**Start Easy Flash**」の順に選択し、 enter を押します。

6. フラッシュドライブに保存したBIOSファイルを参照し、enter を押します。

7. BIOS更新後、「**Exit**」→「**Restore Defaults**」の順に選択し、システムにデフォルト設定をロードします。

注: BIOS更新後、モデルによっては機器がシャットダウンしますが、その場合は、再度、BIOS Setupにアクセスし、項目7の手順でシステムにデフォルト設定をロードしてください。

トラブルシューティング

POST中に f9 を押すと、次のWindows®8トラブルシューティングのオプションにアクセスできます。

- **PCのリフレッシュ**
- **PCを初期状態に戻す**
- **詳細オプション**

PCのリフレッシュ

現在のファイルやアプリケーションを失うことなく、システムを更新したい場合は「**PCのリフレッシュ**」オプションを使用します。

POST中にアクセスする

1. システムを再起動し、POST中に f9 を押します。
2. Windows®が「**オプションの選択**」を読み込むまで待機し、「**トラブルシューティング**」をタップします。
3. 「**PCのリフレッシュ**」をタップします。
4. 「**PCのリフレッシュ**」画面に表示されるこのオプションに関する説明項目を読み、「**次へ**」をタップします。
5. 更新するアカウントをタップします。
6. アカウントのパスワードを入力し、「**続行**」をタップします。
7. 「**リフレッシュ**」をタップします。

重要: ASUS TransBook Trioのリセットを行う前に、ASUS TransBook TrioがACアダプターで電源に接続されていることをご確認ください。

注: ご使用環境などにより、手順などが異なる場合がありますが、その場合は、画面の指示に従って設定を進めてください。

PCを初期状態に戻す

重要: このオプションを実行する前にすべてのデータをバックアップしてください。

「**PCを初期状態に戻す**」オプションを使用し、ASUS TransBook Trioをデフォルト設定にリセットします。

POST中にアクセスする

1. システムを再起動し、POST中に f9 を押します。
2. Windows®が「**オプションの選択**」を読み込むまで待機し、「**トラブルシューティング**」をタップします。
3. 「**PCを初期状態に戻す**」をタップします。
4. 「**PCを初期状態に戻す**」画面に表示されるこのオプションに関する説明項目を読み、「**次へ**」をタップします。
5. 「**Windowsがインストールされているドライブのみ**」または「**すべてのドライブ**」のいずれかを選択します。
6. 「**ファイルの削除のみ行う**」または「**ドライブを完全にクリーンアップする**」のいずれかを選択します。
7. 「**初期状態に戻す**」をタップします。

重要: ASUS TransBook Trioのリセットを行う前に、ASUS TransBook TrioがACアダプターで電源に接続されていることをご確認ください。

注: ご使用環境などにより、手順などが異なる場合がありますが、その場合は、画面の指示に従って設定を進めてください。

詳細オプション

「**詳細オプション**」でASUS TransBook Trioに搭載の追加トラブルシューティングオプションを実行することができます。

POSTにアクセスする

1. システムを再起動し、POST中に f9 を押します。

2. Windows®が「**オプションの選択**」を読み込むまで待機し、「**トラブルシューティング**」をタップします。

3. 「**詳細オプション**」をタップします。

4. 「**詳細オプション**」画面で、実行するトラブルシューティングオプションを選択します。

5. 以降の手順に従い、作業を完了します。

イメージでシステムを回復の使用

「**詳細オプション**」の「**イメージでシステムを回復**」オプションで、イメージファイルを使用したシステムリカバリーを実行することができます。

POST中にアクセスする

1. システムを再起動し、POST中に f9 を押します。

2. Windows®が「**オプションの選択**」を読み込むまで待機し、「**トラブルシューティング**」をタップします。

3. 「**詳細オプション**」をタップします。

4. 詳細オプション画面で「**イメージでシステムを回復**」を選択します。

5. システムイメージファイルでリカバリーを行うアカウントを選択します。

6. アカウントのパスワードを入力し、「**続行**」をタップします。

7. 「**利用可能なシステムイメージのうち最新のものを使用する(推奨)**」を選択し、「**次へ**」をタップします。システムイメージが外部デバイスまたはDVD内にある場合は、「**システムイメージを選択する**」を選択することもできます。

8. 以降の手順に従い、リカバリー作業を完了します。

注: ASUS TransBook Trioが万一動作を停止した場合に備え、データの損失を防ぐため定期的なシステムのバックアップを強くお勧めします。

注: ご使用環境などにより、手順などが異なる場合がありますが、その場合は、画面の指示に従って設定を進めてください。

Chapter 6: FAQとヒント

安全に使用するためのヒント (Windows®環境)

大切なデータを守り、安全に快適にご使用いただくためのヒントを記載しました。本製品の使用方法に関する記載と併せてお読みください。

- Windows® Update:
  定期的にWindows® Update を実行し、Windows®を最新の状態でご使用ください。

- ASUS Live Update:
  ASUS Live UpdateはASUSが提供するユーティリティーやドライバーなどの更新が適用できます。

- アンチウイルスソフト:
  ウイルスからパソコンや大切なデータを守りるため、ウイルス対策のソフトを利用しましょう。

- 強制終了・停電:
  突然の電源断などによる機器の停止は問題を引き起こす可能性があります。使用中はバッテリーをできる限り装着し、機器の停止時も正しいシャットダウンをしましょう。

- バックアップ:
  ASUS TransBook Trioが起動しないなど故障した際、大切なデータを取り出せなくなる可能性があります。定期的に外付けの記憶装置などへバックアップをお取りください。

- 環境温度:
  高温となる場所でのご使用は控えてください。長期間ノートパソコンを使用しない場合は、バッテリーを本体から取り外すことをお勧めします（着脱可能な場合）。

- ASUS TransBook Trioのリセット:
  リセットを行う際は周辺機器を周辺機器をすべて取り外し、次の項目がすべて揃っていることをご確認ください。

  - Officeアプリなどプロダクトキーが必要な場合は、そちらのプロダクトキー
  - バックアップデータ
  - ログインIDとパスワード
  - インターネット接続に必要な情報
    不明点がある場合は、ネットワーク管理者もしくはプロバイダーにお問い合わせください。

ハードウェアに関するFAQ (Windows®環境)

1.　液晶ディスプレイに黒い点や、常時点灯(赤、青、緑)している点がある

製品の品質には万全を期していますが、液晶ディスプレイにはごくわずかですが不完全な表示(ドット抜け)が発生する場合があります。これらは製品の品質を損なうものではありませんが、ASUSの提供する保証サービスが適用される場合がございます。詳しくは、製品に同梱の保証書もしくはASUSコールセンターまでご連絡ください。

2.　液晶ディスプレイの色や明るさにむらがある

液晶ディスプレイの構造上、見る角度や環境により、明るさや色にむらが見える場合があります。また、液晶ディスプレイの明るさや色合いはモデルによって異なる場合があります。
Functionキーまたは OSのディスプレイ設定により画面の調整が可能です。

3.　バッテリー駆動時間を長くする方法

以下の方法を推奨します。

- Power4Gear Hybridの「**システム動作時の設定**」を「**Battery Saving Mode**」に変更します。
- Functionキーで液晶ディスプレイの表示を暗くします。
- Power4Gear Hybridの「**システムスリープ時の設定**」を「**ロングスタンバイ**」に変更します。
- Wi-Fi機能を使用しないときは Functionキーで「**機内モード**」をONにします。
- マウスやUSB機器など、使わない周辺機器は取り外します。
- 大きな負荷がかかるアプリの使用を避けます。

4. バッテリー状態表示ランプが点灯しない

- ACアダプターまたは充電されたバッテリーパック(特定モデルのみ)が正しく取り付けられているか確認してください。
- ACアダプターとバッテリーパック(取り外し可能なモデルのみ)を取り外し、1分以上待ってから再度入れて起動してください。
- それでも点灯しない場合は、コールセンターへご連絡ください。

5. タッチパッドが使用できない

- fn + f9 を押し、タッチパッドの有効/無効の切り替えをお試しください。
- マウスが接続されている場合は、ASUS Smart Gestureでマウス接続時にタッチパッドが無効になる機能が有効になっていないか確認し、もし、有効になっている場合は、マウスを取り外すか、こちらの機能を無効にしてください。

6. スピーカーから音が出ない

- fn + f12 を押し、音量の調節などお試しください。
- ご使用のアプリなどで、ミュート設定になっていないかご確認ください。
- ヘッドホン出力用のジャックに何か接続されていないかご確認ください。接続されている場合は、そちらを取り外してください。
- 再起動し、ASUSロゴが表示されたら<F2>を押し、BIOSのセットアップ画面に入り、「Save & Exit」のページより「Restore Defaults」を実施、<F10>を押し変更を保存し、BIOSのセットアップ画面を終了してからお試しください。

7.　消耗品の購入、ACアダプターをなくした際などの対応方法

コールセンターへご連絡、もしくはASUS Shopをご確認ください。
ASUS Shop; http://shop.asus.co.jp/
※URLは予告無く変更する可能性があります。

8.　ヘッドホン出力用のジャックにヘッドホンなどを接続しても、スピーカーから音が出る

「**コントロールパネル**」→「**ハードウェアとサウンド**」からオーディオマネージャー（モデルにより名称が異なる場合があります）にアクセスし、設定をご確認ください。

9.　キー入力中にカーソルが移動し、正しくキー入力ができない

- お使いのモデルがタッチパッド搭載モデルの場合は、手のひらや洋服の袖などがタッチパッドに触れ、そのため、カーソル移動が発生している可能性があります。
- fn + f9 を押し、タッチパッドの機能を無効にし、キー入力をお試しください。

10.　「U」、「I」、「O」などのキーをタイプすると数字が入力される

「num lock（ニューメリカルロック）が有効になっている可能性があります。 num lk scr lk または shift⇧ + num lk scr lk （モデルによっては fn + num lk scr lk ）を押し、再度、目的のキーの入力をお試しください。

ソフトウェアに関するFAQ (Windows®環境)

1. 電源インジケーターは点灯しているが、ドライブアクティビティインジケーターが点灯/点滅せず、ASUS TransBook Trioが正常に起動しない

- 電源ボタンを4秒以上長押しし、電源を切り、ACアダプターとバッテリーパック(特定モデルのみ)が正しく取り付けられているか確認のうえ、再度、電源を入れてください。
- それでも起動しない場合は、コールセンターへご連絡ください。

2. 「Remove disks or other media. Press any key to restart」が表示される

- USBデバイスが接続されている場合は取り外してください。
- 光学ドライブ搭載のモデルでは、CDなどが挿入されている場合はそちらを取り外します。
- それでも起動しない場合は、記憶装置に何らかの問題が発生している可能性があります。コールセンターへご連絡ください。

3. 起動や動作が遅い

- お買い上げ後にインストールしたアプリなどがありましたら、そちらの常駐の解除をお試しください。
- リフレッシュをお試しください。なお、リフレッシュを実施されても、個人用ファイルとパーソナル設定へは影響はありませんが、お買い上げ後にインストールしたアプリなどはアンインストールされます（Windowsストアからインストールしたアプリは残ります）。削除されたアプリの一覧はデスクトップに保存されます。
  リフレッシュはチャームバーを表示し、「**設定**」→「**PC設定の変更**」→「**全般**」から実施可能です。

4.　ASUS TransBook Trioが起動しない/OSが起動しない

- 接続してUSBデバイスなどをすべて取り外して、電源を入れてください。
- 起動時に<F9>を押し、オプションの選択画面からトラブルシューティングを選択し、「PCのリフレッシュ」や「初期状態に戻す」をお試しください。
- 機器本体の温度が上昇している場合は、過熱を防止するための機能が自動的に働いてる可能性がありますので、しばらく待ってから再度、電源を入れてください。
- それでも起動しない場合は、コールセンターへご連絡ください。

5.　スリープ状態/ 休止状態から復帰しない

- 特定モデルでは、スリープ状態からの復帰には電源ボタンを押す必要があります。電源ボタンを押してください。
- バッテリー残量が少なくなっている、もしくは、完全に放電している可能性があります。ACアダプターを接続し電源ボタンを押してください。
- 一旦、電源ボタンを４秒以上長押しし、機器を強制終了後、電源ボタンを押し、起動してください。なお、保存していないデータは失われます。

6.　USBメモリーやUSB接続のドライブ経由でDOSを起動するには

再起動し、ASUSロゴが表示されたら<F2>を押し、BIOSのセットアップ画面へアクセスします。BIOSのセットアップ画面へアクセスできたら、「**Boot**」タグから「**Lunch CSM**」を「**Enabled**」に、「**Security**」タグから「**Secure Boot Control**」を「**Disabled**」に設定し、F10を押し変更を保存し、BIOSのセットアップ画面を終了します。
再起動し、ASUSロゴが表示されたら<esc>を押します。、起動デバイスの選択メニューが表示されるので、目的のUSBフラッシュドライブもしくはUSB接続のドライブを選択し<Enter>を押します。

7.　文字やアイコンのサイズが小さい

文字やアイコンのサイズは、「**コントロールパネル**」→「**デスクトップのカスタマイズ**」→「**ディスプレイ**」→「**すべての項目のサイズを変更する**」から変更できます。お好みの大きさにご調整ください。

Chapter 7: 付録

光学ドライブ情報*

Blu-rayディスクおよびDVDの再生には、読み取り可能なデバイス、および、再生ソフトウェアを使用する必要があります。Blu-rayドライブは多くの場合、従来のCDとDVDのどちらも使用することができます。DVDドライブは多くの場合、従来のCDを使用することができます。

地域再生情報

Blu-ray/DVDムービータイトルの再生には、MPEGビデオの復号、デジタルオーディオ、CSS保護されたコンテンツの復号化が含まれます。CSS（コピーガードと呼ばれることもある）は動画産業が採用したコンテンツ保護計画の名称で、違法コピーを防ぐものです。

CSSライセンサに課された設計規則はたくさんありますが、もっとも適切な規則の一つは、地域化されたコンテンツに関する再生の制限です。場所によって異なるムービーのリリースを円滑にするために、Blu-ray/DVDビデオタイトルは下の「地域定義」で定義された特定の地域に対してリリースされています。著作権法は、全てのBlu-ray/DVDムービーを特定の地域（普通、販売されている地域に対してコード化されている）に限定するよう要求しており、Blu-ray/DVDムービーコンテンツは、複数の地域でリリースされるので、CSSの設計規則はCSSで暗号化されたコンテンツを再生できるどのシステムも、一つの地域でしか再生できないようになっています。

注: 地域設定は再生ソフトウェアを使用して、通常5回まで変更することができます。制限回数に達した後は、Blu-ray/DVDムービーは最後の地域設定に対してのみ再生することができます。

* 特定モデルのみ

地域定義（DVD）

地域1

カナダ、米国、米国の領土

地域 2

日本、チェコ、エジプト、フィンランド、フランス、ドイツ、ペルシア湾岸諸国、ハンガリー、アイスランド、イラン、イラク、アイルランド、イタリア、オランダ、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、サウジアラビア、スコットランド、南アフリカ、スペイン、スウェーデン、スイス、シリア、トルコ、イギリス、ギリシア、前ユーゴスラビア共和国、スロバキア

地域 3

ビルマ、インドネシア、韓国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、台湾、タイ、ベトナム

地域 4

オーストラリア、西インド諸島（米国領土を除く）、中央アメリカ、ニュージーランド、太平洋諸島、南アメリカ大陸

地域 5

CIS、インド、パキスタン、その他のアフリカ諸国、ロシア、朝鮮民主主義人民共和国

地域 6

中国

地域定義（Blu-ray）*

地域A

日本、南北アメリカ諸国、台湾、香港、マカオ、韓国、
朝鮮民主主義人民共和国、東南アジア諸国とその領土

地域B

ヨーロッパ諸国、アフリカ諸国、中近東諸国とその領土、
オーストラリア、ニュージーランド

地域C

中央・南アジア諸国、東ヨーロッパ諸国とその領土、中国、モンゴル

注: 詳細はBlu-ray Disc のWebサイトをご参照ください。
http://www.blu-raydisc.com/en/Technical/FAQs/Blu-rayDiscforVideo.aspx

* 特定モデルのみ

内蔵モデムの適応規格（規格/プロトコルなど原文掲載）

The ASUS TransBook Trio with internal modem model complies with JATE (Japan), FCC (US, Canada, Korea, Taiwan), and CTR21. The internal modem has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point. In the event of problems you should contact your equipment supplier in the first instance.

Overview

On 4th August 1998 the European Council Decision regarding the CTR 21 has been published in the Official Journal of the EC. The CTR 21 applies to all non voice terminal equipment with DTMF-dialling which is intended to be connected to the analogue PSTN (Public Switched Telephone Network).

CTR 21 (Common Technical Regulation) for the attachment requirements for connection to the analogue public switched telephone networks of terminal equipment (excluding terminal equipment supporting the voice telephony justified case service) in which network addressing, if provided, is by means of dual tone multifrequency signalling.

Network Compatibility Declaration

Statement to be made by the manufacturer to the Notified Body and the vendor: “This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties.”

Statement to be made by the manufacturer to the user: “This declaration will indicate the networks with which the equipment is designed to work and any notified networks with which the equipment may have inter-working difficulties. The manufacturer shall also associate a statement to make it clear where network compatibility is dependent on physical and software switch settings. It will also advise the user to contact the vendor if it is desired to use the equipment on another network.”

Up to now the Notified Body of CETECOM issued several pan-European approvals using CTR 21. The results are Europe’s first modems which do not require regulatory approvals in each individual European country.

Non-Voice Equipment

Answering machines and loud-speaking telephones can be eligible as well as modems, fax machines, auto-dialers and alarm systems. Equipment in which the end-to-end quality of speech is controlled by regulations (e.g. handset telephones and in some countries also cordless telephones) is excluded.

This table shows the countries currently under the CTR21 standard.

Country	Applied	More Testing
Austria[1]	Yes	No
Belgium	Yes	No
Czech Republic	No	Not Applicable
Denmark[1]	Yes	Yes
Finland	Yes	No
France	Yes	No
Germany	Yes	No
Greece	Yes	No
Hungary	No	Not Applicable
Iceland	Yes	No
Ireland	Yes	No
Italy	Still Pending	Still Pending
Israel	No	No
Lichtenstein	Yes	No
Luxemburg	Yes	No
The Netherlands[1]	Yes	Yes
Norway	Yes	No
Poland	No	Not Applicable
Portugal	No	Not Applicable
Spain	No	Not Applicable
Sweden	Yes	No
Switzerland	Yes	No
United Kingdom	Yes	No

This information was copied from CETECOM and is supplied without liability. For updates to this table, you may visit http://www.cetecom.de/technologies/ctr_21.html

1 National requirements will apply only if the equipment may use pulse dialling (manufacturers may state in the user guide that the equipment is only intended to support DTMF signalling, which would make any additional testing superfluous).

In The Netherlands additional testing is required for series connection and caller ID facilities.

Federal Communications Commission Interference Statement

This device complies with FCC Rules Part 15. Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause harmful interference.
- This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a class B digital device, pursuant to Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.

- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING! The use of a shielded-type power cord is required in order to meet FCC emission limits and to prevent interference to the nearby radio and television reception. It is essential that only the supplied power cord be used. Use only shielded cables to connect I/O devices to this equipment. You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void your authority to operate the equipment.

(Reprinted from the Code of Federal Regulations #47, part 15.193, 1993. Washington DC: Office of the Federal Register, National Archives and Records Administration, U.S. Government Printing Office.)

FCC Radio Frequency (RF) Exposure Caution Statement

WARNING! Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate this equipment. "The manufacture declares that this device is limited to Channels 1 through 11 in the 2.4GHz frequency by specified firmware controlled in the USA."

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with FCC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

Declaration of Conformity (R&TTE directive 1999/5/EC)

The following items were completed and are considered relevant and sufficient:

- Essential requirements as in [Article 3]
- Protection requirements for health and safety as in [Article 3.1a]
- Testing for electric safety according to [EN 60950]
- Protection requirements for electromagnetic compatibility in [Article 3.1b]
- Testing for electromagnetic compatibility in [EN 301 489-1] & [EN 301 489-17]
- Effective use of the radio spectrum as in [Article 3.2]
- Radio test suites according to [EN 300 328-2]

CE Marking

CE marking for devices without wireless LAN/Bluetooth

The shipped version of this device complies with the requirements of the EEC directives 2004/108/EC “Electromagnetic compatibility” and 2006/95/EC “Low voltage directive”.

CE marking for devices with wireless LAN/ Bluetooth

This equipment complies with the requirements of Directive 1999/5/EC of the European Parliament and Commission from 9 March, 1999 governing Radio and Telecommunications Equipment and mutual recognition of conformity.

IC Radiation Exposure Statement for Canada

This equipment complies with IC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. To maintain compliance with IC RF exposure compliance requirements, please avoid direct contact to the transmitting antenna during transmitting. End users must follow the specific operating instructions for satisfying RF exposure compliance.

Operation is subject to the following two conditions:

- This device may not cause interference and
- This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

To prevent radio interference to the licensed service (i.e. co-channel Mobile Satellite systems) this device is intended to be operated indoors and away from windows to provide maximum shielding. Equipment (or its transmit antenna) that is installed outdoors is subject to licensing.

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard(s).

CAN ICES-3 (B)/NMB-3 (B)

Déclaration d’Industrie Canada relative à l’ exposition aux ondes radio

Cet appareil est conforme aux limites d’exposition aux radiations d’Industrie Canada définies pour un environnement non-contrôlé. Pour maintenir la conformité avec les exigences d’exposition RF d’IC, veuillez éviter tout contact direct avec l’antenne pendant l’émission. Les utilisateurs finaux doivent suivre les instructions de fonctionnement spécifiques pour satisfaire la conformité aux expositions RF.

Son utilisation est sujette aux deux conditions suivantes :

- Cet appareil ne peut pas causer d’interférence, et
- Cet appareil doit accepter toute interférence, y compris les interférences qui pourraient causer un fonctionnement non souhaité de l’appareil.

Pour éviter les interférences radio avec le service sous licence (c’est à-dire le partage de canal avec les systèmes de téléphonie satellite), cet appareil est destiné à être utilisé en intérieur et loin des fenêtres pour fournir un blindage maximal. Tout appareil (ou son antenne d’émission) qui est installé en extérieur est sujet à cette licence.

Le present appareil est conforme aux CNR d’Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

CAN ICES-3 (B)/NMB-3 (B)

Wireless Operation Channel for Different Domains

N. America	2.412-2.462 GHz	Ch01 through CH11
Japan	2.412-2.484 GHz	Ch01 through Ch14
Europe ETSI	2.412-2.472 GHz	Ch01 through Ch13

France Restricted Wireless Frequency Bands

Some areas of France have a restricted frequency band. The worst case maximum authorized power indoors are:

- 10mW for the entire 2.4 GHz band (2400 MHz–2483.5 MHz)
- 100mW for frequencies between 2446.5 MHz and 2483.5 MHz

NOTE: Channels 10 through 13 inclusive operate in the band 2446.6 MHz to 2483.5 MHz.

There are few possibilities for outdoor use: on private property or on the private property of public persons, use is subject to a preliminary authorization procedure by the Ministry of Defense, with maximum authorized power of 100mW in the 2446.5–2483.5 MHz band. Use outdoors on public property is not permitted.

In the departments listed below, for the entire 2.4 GHz band:

- Maximum authorized power indoors is 100mW
- Maximum authorized power outdoors is 10mW

Departments in which the use of the 2400–2483.5 MHz band is permitted with an EIRP of less than 100mW indoors and less than 10mW outdoors:

01 Ain	02 Aisne	03 Allier
05 Hautes Alpes	08 Ardennes	09 Ariège
11 Aude	12 Aveyron	16 Charente
24 Dordogne	25 Doubs	26 Drôme
32 Gers	36 Indre	37 Indre et Loire
41 Loir et Cher	45 Loiret	50 Manche
55 Meuse	58 Nièvre	59 Nord
60 Oise	61 Orne	63 Puy du Dôme
64 Pyrénées Atlantique	66 Pyrénées Orientales	67 Bas Rhin
68 Haut Rhin	70 Haute Saône	71 Saône et Loire
75 Paris	82 Tarn et Garonne	84 Vaucluse
88 Vosges	89 Yonne	90 Territoire de Belfort
94 Val de Marne		

This requirement is likely to change over time, allowing you to use your wireless LAN card in more areas within France. Please check with ART for the latest information (www.arcep.fr)

NOTE: Your WLAN Card transmits less than 100mW, but more than 10mW.

UL Safety Notices

Required for UL 1459 covering telecommunications (telephone) equipment intended to be electrically connected to a telecommunication network that has an operating voltage to ground that does not exceed 200V peak, 300V peak-to-peak, and 105V rms, and installed or used in accordance with the National Electrical Code (NFPA 70).

When using the ASUS TransBook Trio modem, basic safety precautions should always be followed to reduce the risk of fire, electric shock, and injury to persons, including the following:

- DO NOT use the ASUS TransBook Trio near water, for example, near a bath tub, wash bowl, kitchen sink or laundry tub, in a wet basement or near a swimming pool.
- DO NOT use the ASUS TransBook Trio during an electrical storm. There may be a remote risk of electric shock from lightning.
- DO NOT use the ASUS TransBook Trio in the vicinity of a gas leak.

Required for UL 1642 covering primary (nonrechargeable) and secondary (rechargeable) lithium batteries for use as power sources in products. These batteries contain metallic lithium, or a lithium alloy, or a lithium ion, and may consist of a single electrochemical cell or two or more cells connected in series, parallel, or both, that convert chemical energy into electrical energy by an irreversible or reversible chemical reaction.

- Do not dispose the ASUS TransBook Trio battery pack in a fire, as they may explode. Check with local codes for possible special disposal instructions to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion.
- Do not use power adapters or batteries from other devices to reduce the risk of injury to persons due to fire or explosion. Use only UL certified power adapters or batteries supplied by the manufacturer or authorized retailers.

Power Safety Requirement

Products with electrical current ratings up to 6A and weighing more than 3Kg must use approved power cords greater than or equal to: H05VV-F, 3G, 0.75mm^2 or H05VV-F, 2G, 0.75mm^2.

TV Notices

Note to CATV System Installer—Cable distribution system should be grounded (earthed) in accordance with ANSI/NFPA 70, the National Electrical Code (NEC), in particular Section 820.93, Grounding of Outer Conductive Shield of a Coaxial Cable – installation should include bonding the screen of the coaxial cable to the earth at the building entrance.

REACH

Complying with the REACH (Registration, Evaluation, Authorization, and Restriction of Chemicals) regulatory framework, we publish the chemical substances in our products at ASUS REACH website at http://csr.asus.com/english/REACH.htm.

Macrovision Corporation Product Notice

This product incorporates copyright protection technology that is protected by method claims of certain U.S.A. patents and other intellectual property rights owned by Macrovision Corporation and other rights owners. Use of this copyright protection technology must be authorized by Macrovision Corporation, and is intended for home and other limited viewing uses only *unless otherwise authorized by Macrovision Corporation*. Reverse engineering or disassembly is prohibited.

聴覚障害を防ぐため

イヤホンやヘッドホンからの過度な音圧は、難聴などの聴覚障害の原因となる場合があります。ボリュームコントロールやイコライザーを基準値以外に設定した場合、イヤホンやヘッドホンの出力電圧が増加し音圧が高くなることがあります。ご注意ください。

認証マークの表示について

あなたのタブレットには国ごとの認証マークが含まれています。

認証マークの確認方法

1. タブレットの電源をON にします。
2. 画面の右上から下にスワイプします。
3. 「設定」をタッチします。
4. 一番下まで画面をスクロールし、「タブレット情報」→「規制情報」を選択します。

Nordic Lithium Cautions (for lithium-ion batteries)

CAUTION! Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. Dispose of used batteries according to the manufacturer's instructions. (English)

ATTENZIONE! Rischio di esplosione della batteria se sostituita in modo errato. Sostituire la batteria con un una di tipo uguale o equivalente consigliata dalla fabbrica. Non disperdere le batterie nell'ambiente. (Italian)

VORSICHT! Explosionsgefahr bei unsachgemäßen Austausch der Batterie. Ersatz nur durch denselben oder einem vom Hersteller empfohlenem ähnlichen Typ. Entsorgung gebrauchter Batterien nach Angaben des Herstellers. (German)

ADVARSELI! Lithiumbatteri - Eksplosionsfare ved fejlagtig håndtering. Udskiftning må kun ske med batteri af samme fabrikat og type. Levér det brugte batteri tilbage til leverandøren. (Danish)

VARNING! Explosionsfara vid felaktigt batteribyte. Använd samma batterityp eller en ekvivalent typ som rekommenderas av apparattillverkaren. Kassera använt batteri enligt fabrikantens instruktion. (Swedish)

ATTENTION! Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du mêre type ou d' un type équivalent recommandé par le constructeur. Mettre au rebut les batteries usagées conformément aux instructions du fabricant. (French)

ADVARSEL! Eksplosjonsfare ved feilaktig skifte av batteri. Benytt samme batteritype eller en tilsvarende type anbefalt av apparatfabrikanten. Brukte batterier kasseres i henhold til fabrikantens instruksjoner. (Norwegian)

注意: バッテリーの交換は正しく行ってください。破裂する危険があります。交換の際は、メーカーが指定したバッテリーをお使いください。また、廃棄の際は家庭ゴミとまとめて捨てずに、最寄の廃棄物処理施設等に問い合わせ、バッテリーの処分方法を確認してください。(Japanese)

ВНИМАНИЕ! При замене аккумулятора на аккумулятор иного типа возможно его возгорание. Утилизируйте аккумулятор в соответствии с инструкциями производителя. (Russian)

Optical Drive Safety Information

Laser Safety Information

CD-ROM Drive Safety Warning

CLASS 1 LASER PRODUCT

WARNING! To prevent exposure to the optical drive's laser, do not attempt to disassemble or repair the optical drive by yourself. For your safety, contact a professional technician for assistance.

Service warning label

WARNING! INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. DO NOT STARE INTO BEAM OR VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS.

CDRH Regulations

The Center for Devices and Radiological Health (CDRH) of the U.S. Food and Drug Administration implemented regulations for laser products on August 2, 1976. These regulations apply to laser products manufactured from August 1, 1976. Compliance is mandatory for products marketed in the United States.

WARNING! Use of controls or adjustments or performance of procedures other than those specified herein or in the laser product installation guide may result in hazardous radiation exposure.

CTR 21 Approval (for ASUS TransBook Trio with built-in Modem)

Danish

»Udstyret er i henhold til Rådets beslutning 98/482/EF EU-godkendt til at blive opkoblet på de offentlige telefonnet som enkeltforbundet terminal. På grund af forskelle mellem de offentlige telefonnet i de forskellige lande giver godkendelsen dog ikke i sig selv ubetinget garanti for, at udstyret kan fungere korrekt på samtlige nettermineringspunkter på de offentlige telefonnet.

I tilfælde af problemer bør De i første omgang henvende Dem til leverandøren af udstyret.«

Dutch

„Dit apparaat is goedgekeurd volgens Beschikking 98/482/EG van de Raad voor de pan-Europese aansluiting van enkelvoudige eindapparatuur op het openbare geschakelde telefoonnetwerk (PSTN). Gezien de verschillen tussen de individuele PSTN's in de verschillende landen, biedt deze goedkeuring op zichzelf geen onvoorwaardelijke garantie voor een succesvolle werking op elk PSTN-netwerkaansluitpunt.

Neem bij problemen in eerste instantie contact op met de leverancier van het apparaat.".

English

'The equipment has been approved in accordance with Council Decision 98/482/EC for pan-European single terminal connection to the public switched telephone network (PSTN). However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries, the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.'

Finnish

"Tämä laite on hyväksytty neuvoston päätöksen 98/482/EY mukaisesti liitettäväksi yksittäisenä laitteena yleiseen kytkentäiseen puhelinverkkoon (PSTN) EU:n jäsenvaltioissa. Eri maiden yleisten kytkentäisten puhelinverkkojen välillä on kuitenkin eroja, joten hyväksyntä ei sellaisenaan takaa häiriötöntä toimintaa kaikkien yleisten kytkentäisten puhelinverkkojen liityntäpisteissä.

Ongelmien ilmetessä ottakaa viipymättä yhteyttä laitteen toimittajaan."

French

«Cet équipement a reçu l'agrément, conformément à la décision 98/482/CE du Conseil, concernant la connexion paneuropéenne de terminal unique aux réseaux téléphoniques publics commutés (RTPC). Toutefois, comme il existe des différences d'un pays à l'autre entre les RTPC, l'agrément en soi ne constitue pas une garantie absolue de fonctionnement optimal à chaque point de terminaison du réseau RTPC.

En cas de problème, vous devez contacter en premier lieu votre fournisseur.»

German

„Dieses Gerät wurde gemäß der Entscheidung 98/482/EG des Rates europaweit zur Anschaltung als einzelne Endeinrichtung an das öffentliche Fernsprechnetz zugelassen. Aufgrund der zwischen den öffentlichen Fernsprechnetzen verschiedener Staaten bestehenden Unterschiede stellt diese Zulassung an sich jedoch keine unbedingte Gewähr für einen erfolgreichen Betrieb des Geräts an jedem Netzabschlußpunkt dar.

Falls beim Betrieb Probleme auftreten, sollten Sie sich zunächst an ihren Fachhändler wenden."

Greek

«Ο εξοπλισμός έχει εγκριθεί για πανευρωπαϊκή σύνδεση μεμονωμέου τερματικού με το δημόσιο τηλεφωνικό δίκτυο μεταγωγής (PSTN), σύμφωνα με την απόφαση 98/482/ΕΚ του Συμβουλίου· ωστόσο, επειδή υπάρχουν διαφορές μεταξύ των επιμέρους PSTN που παρέχονται σε διάφορες χώρες, η έγκριση δεν παρέχει αφ' εαυτής ανεπιφύλακτη εξασφάλιση επιτυχούς λειτουργίας σε κάθε σημείο απόληξης του δικτύου PSTN.

Εάν ανακύψουν προβλήματα, θα πρέπει κατ' αρχάς να απευθύνεστε στον προμηθευτή του εξοπλισμού σας.»

Italian

«La presente apparecchiatura terminale è stata approvata in conformità della decisione 98/482/CE del Consiglio per la connessione paneuropea come terminale singolo ad una rete analogica PSTN. A causa delle differenze tra le reti dei differenti paesi, l'approvazione non garantisce però di per sé il funzionamento corretto in tutti i punti di terminazione di rete PSTN.

In caso di problemi contattare in primo luogo il fornitore del prodotto.»

Portuguese

«Este equipamento foi aprovado para ligação pan-europeia de um único terminal à rede telefónica pública comutada (RTPC) nos termos da Decisão 98/482/CE. No entanto, devido às diferenças existentes entre as RTPC dos diversos países, a aprovação não garante incondicionalmente, por si só, um funcionamento correcto em todos os pontos terminais da rede da RTPC.

Em caso de problemas, deve entrar-se em contacto, em primeiro lugar, com o fornecedor do equipamento.»

Spanish

«Este equipo ha sido homologado de conformidad con la Decisión 98/482/CE del Consejo para la conexión paneuropea de un terminal simple a la red telefónica pública conmutada (RTPC). No obstante, a la vista de las diferencias que existen entre las RTPC que se ofrecen en diferentes países, la homologación no constituye por sí sola una garantía incondicional de funcionamiento satisfactorio en todos los puntos de terminación de la red de una RTPC.

En caso de surgir algún problema, procede ponerse en contacto en primer lugar con el proveedor del equipo.».

Japanese

本装置は、第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しております。

しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に、近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。本書の説明にしたがって正しい取り扱いをしてください。

本製品を日本で使用する場合は必ず日本国モードでご使用ください。他国のモードをご使用になると電気通信事業法 (技術基準) に違反す行為となります。なお、ご購入時は初期値が日本国モードとなっておりますので、そのままご利用ください。

ENERGY STAR complied product

ENERGY STAR is a joint program of the U.S. Environmental Protection Agency and the U.S. Department of Energy helping us all save money and protect the environment through energy efficient products and practices.

All ASUS products with the ENERGY STAR logo comply with the ENERGY STAR standard, and the power management feature is enabled by default. The monitor and computer are automatically set to sleep after 15 and 30 minutes of user inactivity. To wake your computer, click the mouse or press any key on the keyboard. Please visit http://www.energy.gov/powermanagement for detail information on power management and its benefits to the environment. In addition, please visit http://www.energystar.gov for detail information on the ENERGY STAR joint program.

NOTE: Energy Star is NOT supported on FreeDOS and Linux-based operating systems.

European Union Eco-label

This ASUS TransBook Trio has been awarded the EU Flower label, which means that this product has the following characteristics:

1. Decreased energy consumption during use and stand-by modes.
2. Limited use of toxic heavy metals.
3. Limited use of substances harmful to the environment and health.
4. Reduction of the use of natural resources by encouraging recycling.
5. Designed for easy upgrades and longer lifetime through providing compatible spare parts such as batteries, power supplies, the keyboard, the memory, and if available the CD drive or DVD drive.
6. Reduced solid waste through takeback policy.

For more information on the EU Flower label, please visit the European Union Eco-label website at http://www.ecolabel.eu.

電気・電子機器に含有される化学物質の表示について

資源有効利用促進法では、JIS C 0950: 2008 (J-Moss) の定める規格により、製造元に対し特定の電気・電子機器に含まれる化学物質の情報提供を義務付けています。J-Moss とは、電気・電子機器に含有される化学物質の表示に関するJIS規格の略称で、正式名称は「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content (電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」です。なお、この規格は2008年8月1日より適用されています。

この規格に関する詳細情報はASUSのサイト(http://green.asus.com/english/)に記載の「The marking when content other than exemption does not exceed reference value of percentage content(電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法)」をご参照ください。

回収とリサイクルについて

使用済みのコンピューター、ノートパソコン等の電子機器には、環境に悪影響を与える有害物質が含まれており、通常のゴミとして廃棄することはできません。リサイクルによって、使用済みの製品に使用されている金属部品、プラスチック部品、各コンポーネントは粉砕され新しい製品に再使用されます。また、その他のコンポーネントや部品、物質も正しく処分・処理されることで、有害物質の拡散の防止となり、環境を保護することに繋がります。

筐体のコーティングについて

重要: 感電などを防ぐため、本機は絶縁性のあるコーティング材を使用しています (入出力ポート搭載部分を除く)。